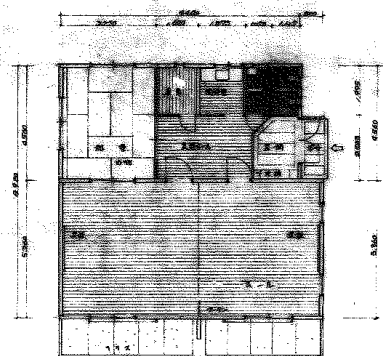


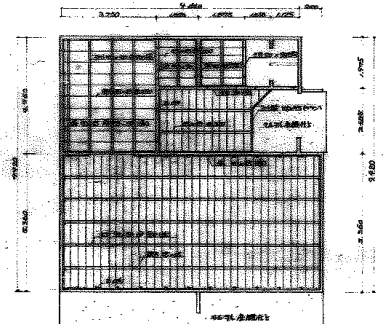
45-NO 0717

名称	物置 (3P棟)	設計者	
図面名称	平面詳細 立面 断面図	縮尺	1/50 1/50
図面番号	NC 17-1	製図者	山本 浩二
設計	愛知県建築師会 建築設計課		

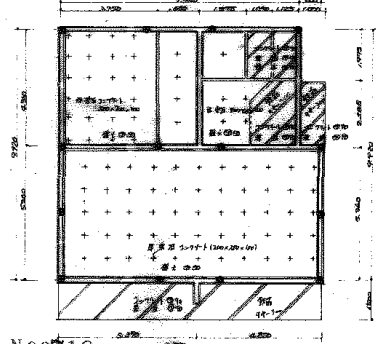
- 注
1. 外観木部はA7OP-2同系
  2. コンクリートはC20-F20-F20に指定する(部材は先ソフト参照)
  3. 基礎盛土はC10-F10に指定する



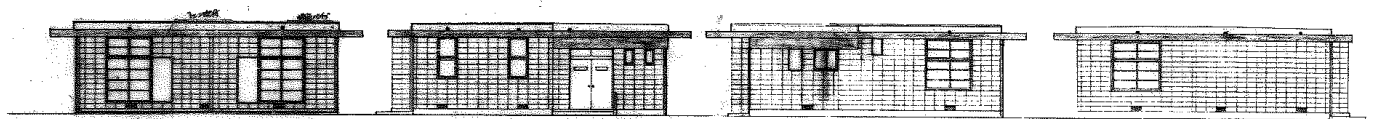
平面图



立面图



立面图

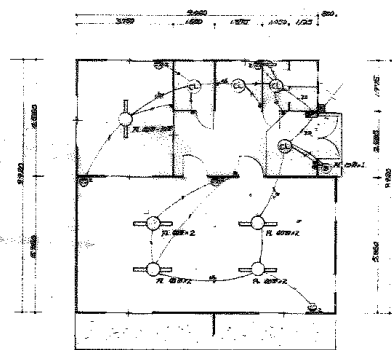


南立面图

东立面图

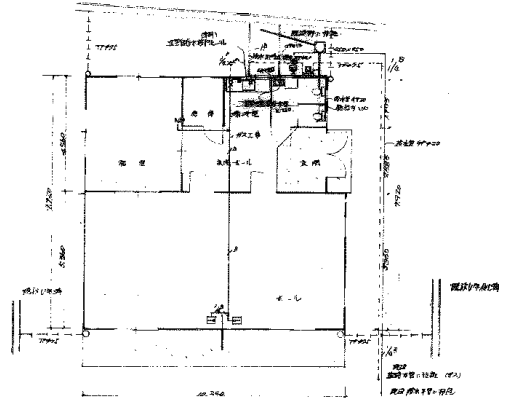
北立面图

西立面图



结构平面图

材料表	
混凝土	C15
钢筋	HPB235
砖	MU10
砂浆	M5
木材	杉木
油漆	防锈漆



平面布置图

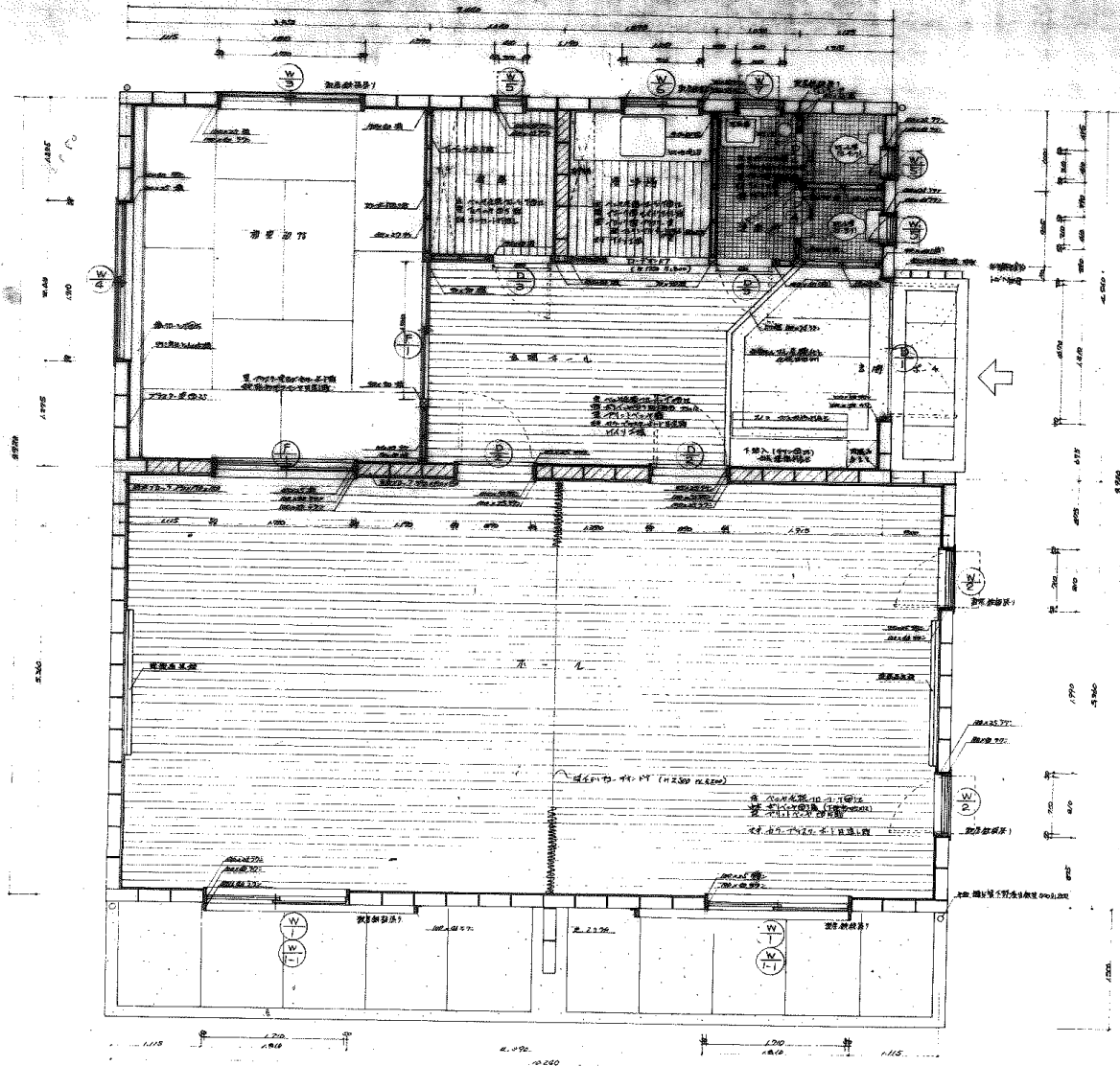
材料表

材料表									
名称	规格	数量	单位	备注	名称	规格	数量	单位	备注
水泥	42.5	100	t		钢筋	HPB235	50	t	
砂	中砂	200	m³		砖	MU10	10000	块	
石子	5-20mm	150	m³		砂浆	M5	100	m³	
木材	杉木	10	m³		油漆	防锈漆	10	kg	
门窗	铝合金	10	m²		玻璃	5mm	10	m²	

45-N00718

设计	张	1
校对	张	1
审核	张	1
批准	张	1

建筑图号 970510



无. 总图 1:100-1-1

建筑图 A. 总图 1:100-1-1

45-NO 0719

图名	平面图	设计	校对
比例	1:100		
日期	1952.11		
设计	上海建筑设计院住宅建设所		



項 目	特 記 事 項 ( 規 格 書 )	2 部 材 料
3 土 工 事	2 部 験切り及び埋戻し 3.2.3 埋戻し及び盛土 3.2.4 平土用土質 平土用土質	5.2.1 ケンセント 5.2.2 骨 料 5.2.3 級 別 材 質
	1 部 一般事項 4.1.1 部 験 4.2.4 試 験 材 質	4 部 レザーミクスコンクリート 5.4.2 レザーミクスコンクリートの呼び強度の選定 6 部 品質管理及び試験 5.6.5 標準体のコンクリート強度試験
4 地 盤 工 事	2 部 打込み杭地盤 4.2.4 試 験 材 質	2 部 材料及び構造 4.2.1 部 験及び構造
	4.2.7 工 法	7 部 鋼 材 料 7.1.1 鋼 材 鉄 筋 7.1.2 丸 鋼 7.1.3 鋼 筋 金 網
5 鋼 筋 工 事	4.2.7 工 法	2 部 加工及び組立て 7.2.1 組 立 7.2.2 鉄筋のめくり厚さ及び露出
	4.4.4 材 質 其 他 4.4.6 工 法 其 他	2 部 材 料 8.2.1 鋼 材 5.2.2 高 力 ボ ル ト
6 鋼 筋 工 事	5 部 鋼 筋の品質試験 4.5.2 一 般 事 項	5 部 深 挿 推 進 機 5.5.3 所 属 完 了 後 の 検 査
	6 部 鋼コンクリート地盤 4.6.1 材 質	7 部 アンカーボルト 8.7.2 ボルトの保持及び埋込み 8.7.4 経年ならし、仕上げ
7 底 成 コ ン ク リ ー ト 工 事	6 部 玉石・卵石コンクリート地盤 4.6.1 材 質	1 部 鋼 筋 8.1.2 材 質
	1 部 一 般 事 項 6.1.1 部 験計画強度 6.1.2 コンクリートの製造期間 6.1.4 標準コンクリートの種類	2 部 鋼筋コンクリートブロック積み (耐圧型) 9.2.3 材 質

5	土木建築部	5-2	2
6	建設工務部	5-2	2
7	建設工務部	5-2	2





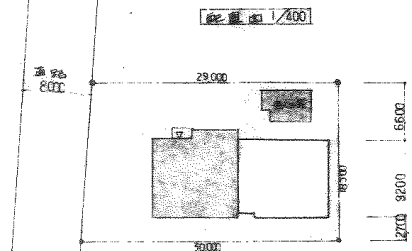
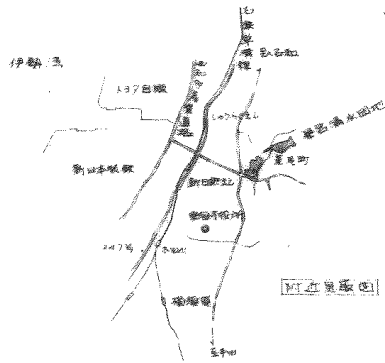


部	項	目	特記事項 (補遺欄)	1部	1層	事項	
8	0	ビニル張ダイオキシン	1. 0ビニル張ダイオキシンの種類: 単層張設・複層張設 厚さ (mm): 厚さ 2. ビニル張水の種類: 単層張設・複層張設 厚さ (mm): 厚さ	20.1.1	20.1.1	1部 1層 事項 開通設置工事 開穴機: ※開通工事・電気工事・給排水工事・ガス工事	
		9	合成樹脂塗料			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	2部 PC張設作に使用する材料及び部材 20.2.2 塗 料 ※ 材質: 図面による
		10	石こうボード, その他のボード及び金網張り			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	3部 PC板の製作 20.3.3 厚 薄 仕 上 げ ※ 0ビニル張り仕上げの製造方法: ※先付け工法
		11	壁紙張り			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	4部 PC板の運搬及び組立て 20.4.4 PC板組立て時の検査 2. PC板の目張及び取組の検査の判定及びその検査方法: 1) 判定基準 JASS-10.2.5-3による 2) 検査方法 JASS-10.2.5-14による
		12	カーペット敷き			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	5部 滑 接 接 合 20.5.4 部 材 プ レ ー ト 20.6.7 厚 薄 施 工 ※ 壁紙の水平ドライラインに用いる部材プレートの材質: 図面による 11. プレアグループ層厚の検査: L15以内 12. (1) 検査記録簿添付: 図面による (仮設は監督員の指示による)
		13	遮熱及び防露工法			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	6部 ジョイント用コンクリート 20.7.1 組 合 及 び 質 量 1. 設計基準強度: R210N/㎡
		14	内装アヘア工法			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	
		15	1部 浴室ユニット			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	
		16	2部 カーテンレール			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	
		17	3部 その他			1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ	
18	4部 貫通孔その他	1. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ 2. 0ビニル張ダイオキシン塗り床 厚さ (mm): 厚さ					

5	※ 雨水排水管の増設工事
5	※ 雨水排水管の増設工事
5	※ 雨水排水管の増設工事
5	※ 雨水排水管の増設工事
5	※ 雨水排水管の増設工事



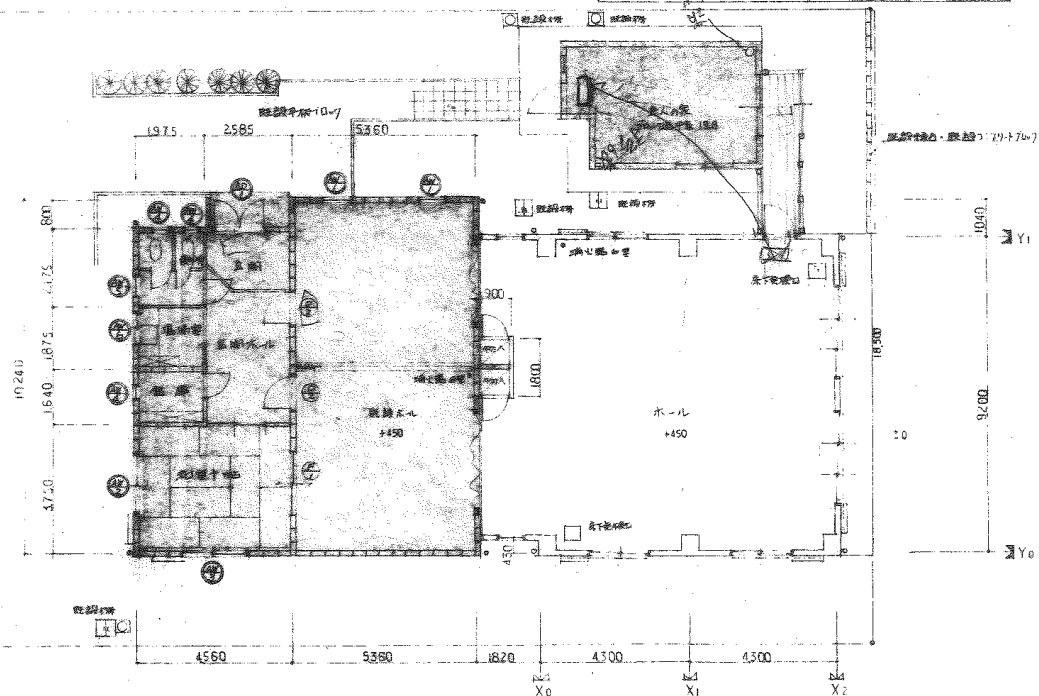
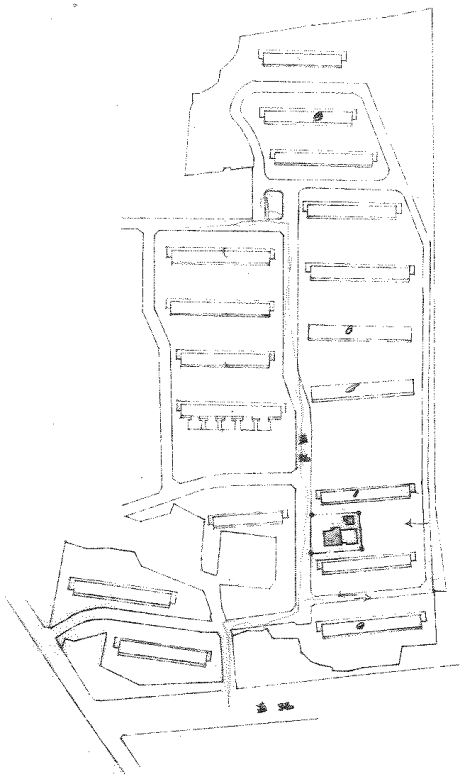




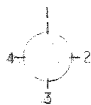
建設場所	東海市豊原町水塚24
用途地域	住居地域・指定1区
敷地面積	545.75
建築面積率	$\frac{210}{545.75} > \frac{39}{100}$ $\frac{212.81}{545.75} > \frac{39}{100}$

面積表			
	既設部分	増築部分	合計
建築面積	117.73	95.13	212.86
延床面積	117.73	95.08	212.81
合計	117.73	95.08	212.81

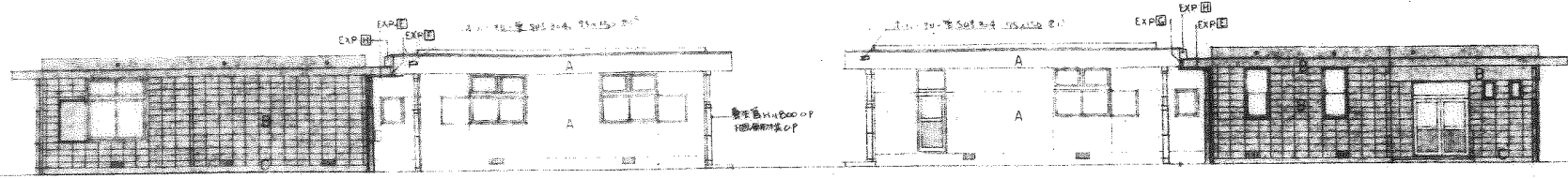
棟別面積表			
	既設部分	増築部分	合計
建築面積	97.93	95.13	193.06
1階床面積	97.93	95.08	193.01
合計	97.93	95.08	193.01



凡例	
	既設建築物
	新築建築物
	敷地境界線
	水電ガス配管の取付位置

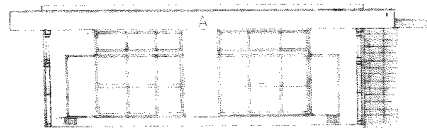


名称	清水住宅建設の建築工事	設計図
図面名称	新築建築物・既設建物 面積表・寸法図	1:400 1:100
図面番号	7	
設計		

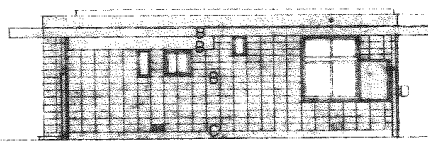


南正面図 1/100

北正面図 1/100



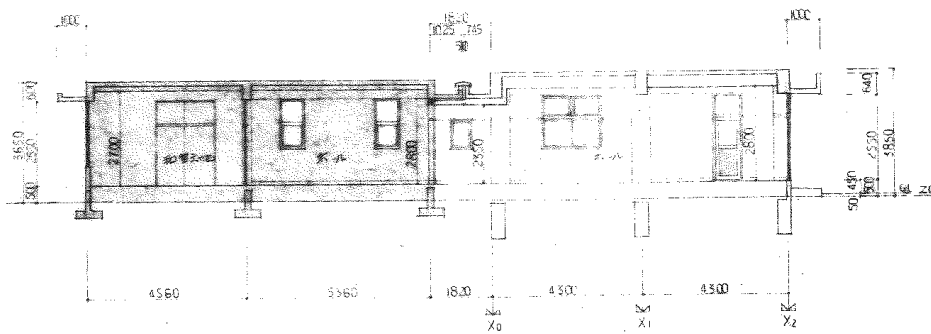
東正面図 1/100



西正面図 1/100

凡例

□	既設窓
□	新設窓
A	A系シロシ
B	A系シロシ
C	フリース
D	OP窓



東断面 1/100

(新設部分)

外部仕上表					備考
川木	壁	屋根	軒裏	下口	
エンタール	ALC+FRG+WEA+EPS+ACF	20mm厚ALC(断熱付)	17mm厚FRG+25mm厚ALC(断熱付)	セメント	新設-断熱付ALC+FRG+EPS+ACF+OP窓 既設-断熱付ALC+FRG+EPS+ACF+OP窓 LL-新設ALC+FRG+EPS+ACF+OP窓 床下埋込み-断熱付20mm厚ALC(断熱付)

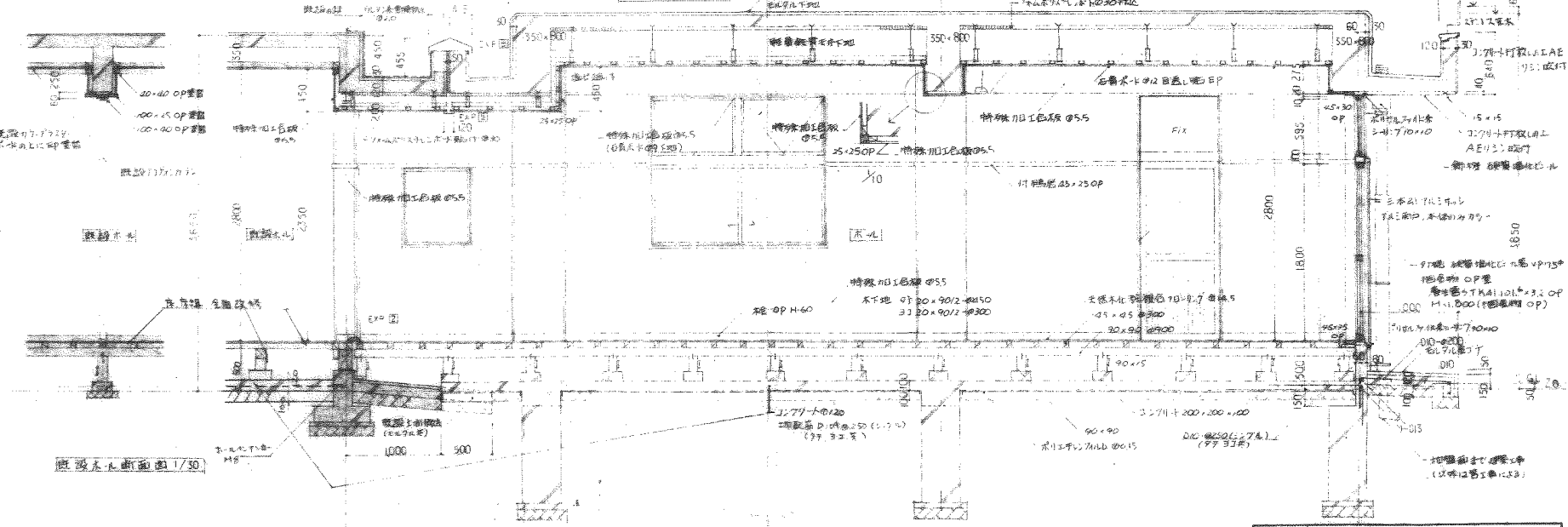
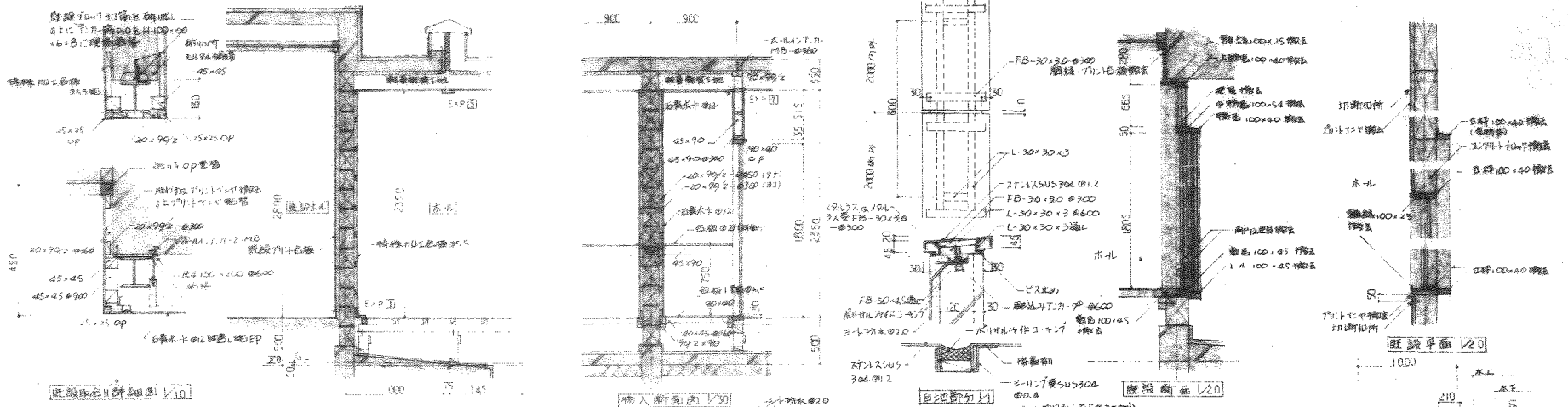
  

内部仕上表						
床	川木	壁	天井	備考	塗装	
木	ALC+FRG+WEA+EPS+ACF	H+O+P	FRG+FRG+FRG+FRG(断熱付)	白粉塗り	白粉塗り	OP窓
既設木	既設木	←	←	←	既設木	OP窓

施設建物改修工事項目

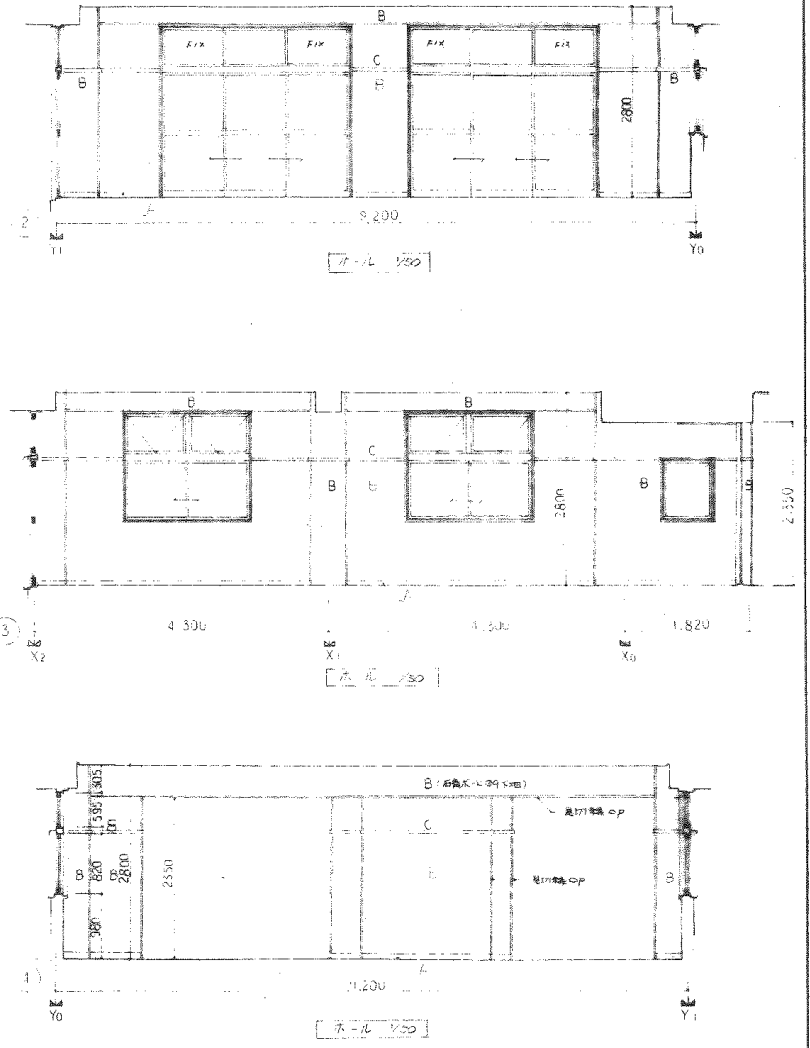
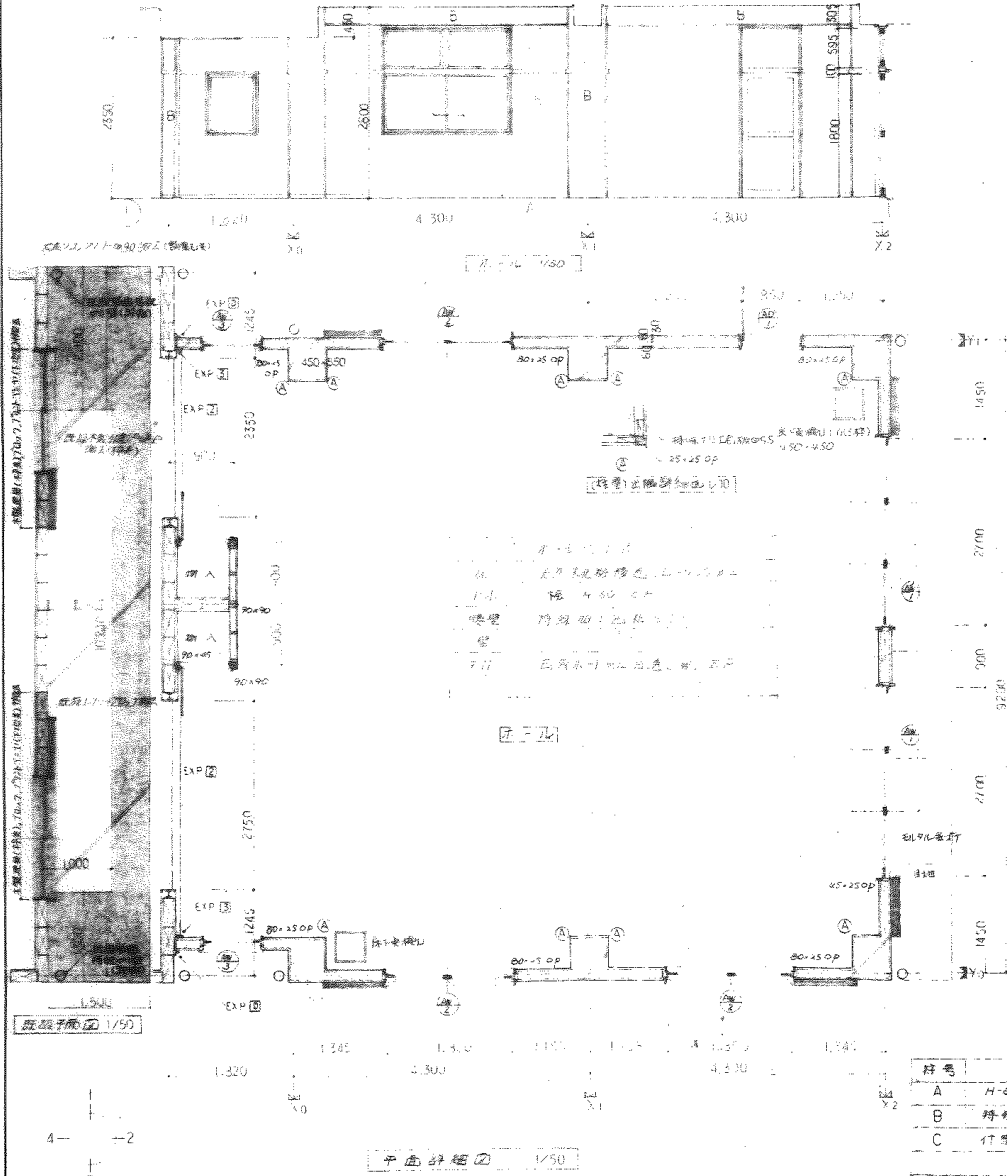
	改修前	改修後
内	ALC+FRG+WEA+EPS+ACF	断熱付ALC+FRG+EPS+ACF
壁	FRG+FRG+FRG+FRG	断熱付FRG+FRG+FRG+FRG
天井	FRG+FRG+FRG+FRG	断熱付FRG+FRG+FRG+FRG
床	FRG+FRG+FRG+FRG	断熱付FRG+FRG+FRG+FRG
外	ALC+FRG+WEA+EPS+ACF	断熱付ALC+FRG+EPS+ACF
1	断熱付ALC+FRG+EPS+ACF	断熱付ALC+FRG+EPS+ACF
2	断熱付ALC+FRG+EPS+ACF	断熱付ALC+FRG+EPS+ACF
3	FRG+FRG+FRG+FRG	断熱付FRG+FRG+FRG+FRG
4	FRG+FRG+FRG+FRG	断熱付FRG+FRG+FRG+FRG

名称	木下住宅完全改修工事	設計図
図面名称	東正面図, 東断面, 仕上表	1/100
図面番号	8	
設計		



■	原 圖
□	既 設 水 管
□	新 設 水 管

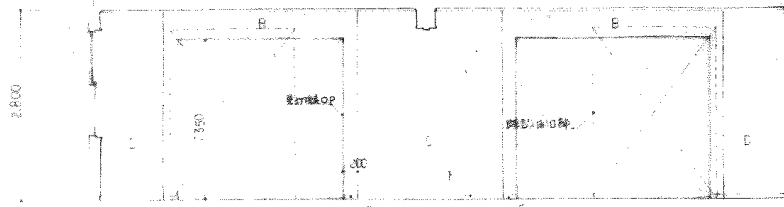
名 稱	清水塔管架及竹圍架工程 設計圖	
圖面名稱	塔架(2), 各層詳節圖	1:30 1:10
圖面番號	9	
設 計		



符号	说明
A	H-60 OP
B	特殊加工型材 0.5, 5
C	竹类层 45x45 OP

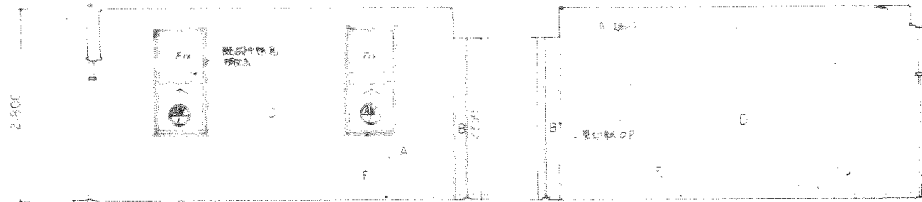
名称	清水住宅委员会增建工程	设计图
图面名称	平面结构图、剖面图、结构详图	1:50, 1:10
图面编号	10	
设计		





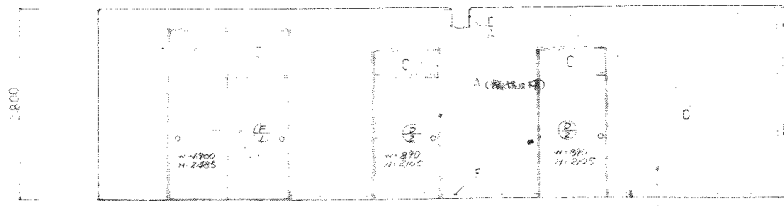
1 既設外壁改修

- 1 下地調整 壁全面を高圧水にて洗浄し、塗装場所はアクリル系コーキング、はく離及び欠損箇所には接着材入モルタル塗補修を行う
- 2 養生押入 アクリル系プライマー1回吹
- 3 下 吹 アクリル系リシンをむらなく吹付け(色は上吹きと同色)
- 4 上 吹 下吹吹付け後約3時間放置し、その後アクリル系リシンをむらなく吹付け(色は見本品提出の上、監修員の指示を受ける)
- 5 材料 JIS A 6909
- 6 その他 注意事項 下記のような場合は吹付けを延期する  
 A 雨天時  
 B 強風時  
 C 気温5℃以下の時  
 D その他吹付け面に悪影響の出る恐れのある時



2 既設屋根塗膜防水造替

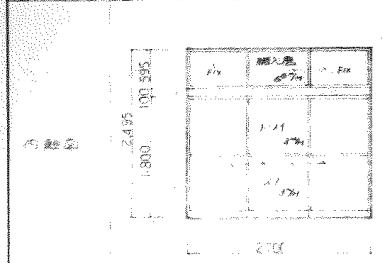
- 1 下地調整 既設屋根(庇)のモルタル防水面を高圧水にて洗浄し 塗装場所はアクリル系コーキング、はく離及び欠損箇所は接着材入モルタル塗補修を行う
- 2 塗工程
  - 1 下地処理 プライマー0.1
  - 2 オー工程 下塗り111タン
  - 3 オニ工程 グロス張合せ目50以上
  - 4 オニ工程 中塗り111タン0.7
  - 5 オニ工程 上塗り111タン0.7
  - 6 オニ工程 仕上げ シルバー仕上



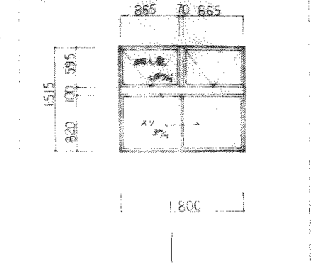
符号	仕上
A	0.p塗膜
B	特殊加工目付0.5
C	ガラスコーキング
D	既設アクリル系0.5
E	下塗り111タン0.7 中塗り111タン0.7 上塗り111タン0.7
F	既設黒色シリコン0.1

名称	清水住宅建築設計事務所 設計図	
図面名称	既設外壁改修	1/50
図面番号	11	11
設計		

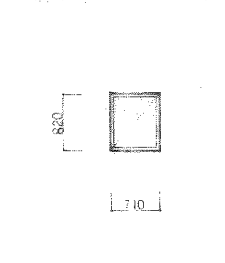
図号 型式 (A1) シンメトリック引違い窓：ワンシェ (A2) シンメトリック引違い窓：ワンシェ (A3) エントリーワンシェ (A4) 片開きワンシェード (A5) 片開きワンシェード (A6) 片開きワンシェード



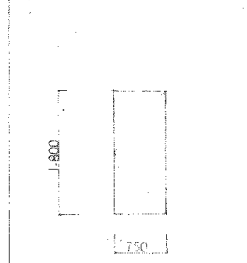
位置 数量	ホール	2
高さ	105	
網子	(925) 網入窓 1776 x 607 (2部) x 1776 x 607 (2部) x 1776 x 607 (2部)	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	新戸付 (片開き) 網入 (1.0付), T/P 付 (1.0付), T/P 付 (1.0付)	



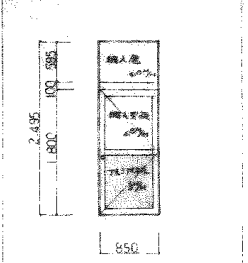
位置 数量	ホール	3
高さ	70	
網子	(925) 網入窓 1776 x 607 (2部) x 1776 x 607 (2部) x 1776 x 607 (2部)	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	新戸付 (片開き) 網入 (1.0付), T/P 付 (1.0付), T/P 付 (1.0付)	



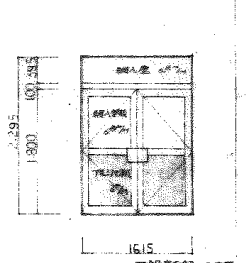
位置 数量	ホール	2
高さ	70	
網子	網入 網入窓 607 x 607	
金網	メッシュ (0.7付), ハンドル付	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付)	



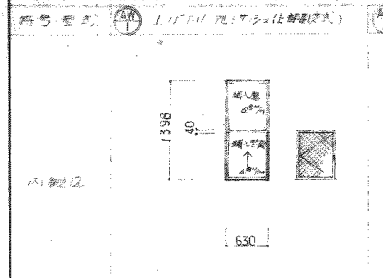
位置 数量	物入	2
高さ	33	
網子	取手 キット, 戸当 下巻	
金網	特殊加工 色板 φ5.5 77 x 24mm	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付)	



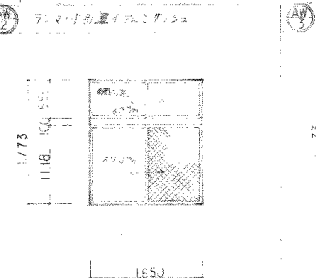
位置 数量	ホール	1
高さ	70	
網子	(925) 網入窓 1776 x 607 (2部) x 網入窓 1776 x 607 (2部)	
金網	メッシュ (0.7付) 上付 (1.0付)	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付)	



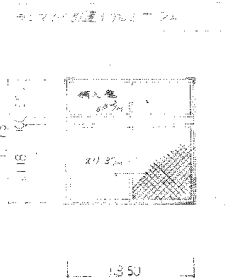
位置 数量	玄関	1
高さ	70	
網子	引違い 網入窓 1776 x 607 (1.0付) 776 x 607 (1.0付)	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付)	



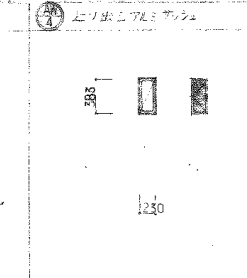
位置 数量	既設 網入窓	2
高さ	70	
網子	(1.0) 網入窓 1776 x 607 (1.0) 網入窓 1776 x 607 (1.0)	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付), 網入 (1.0付)	



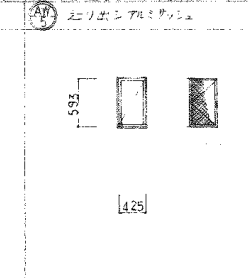
位置 数量	既設 網入窓	1
高さ	70	
網子	(1.0) 網入窓 1776 x 607 (1.0) 網入窓 1776 x 607 (1.0)	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付), 網入 (1.0付)	



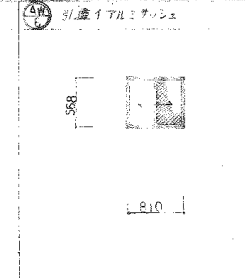
位置 数量	既設 網入窓	1
高さ	70	
網子	(1.0) 網入窓 1776 x 607 (1.0) 網入窓 1776 x 607 (1.0)	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付), 網入 (1.0付)	



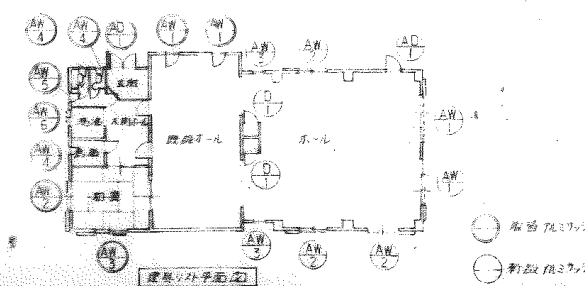
位置 数量	既設 網入窓	3
高さ	70	
網子	網入 網入窓 ガラス 607 x 607	
金網	メッシュ (0.7付), ハンドル付	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付), 網入 (1.0付)	



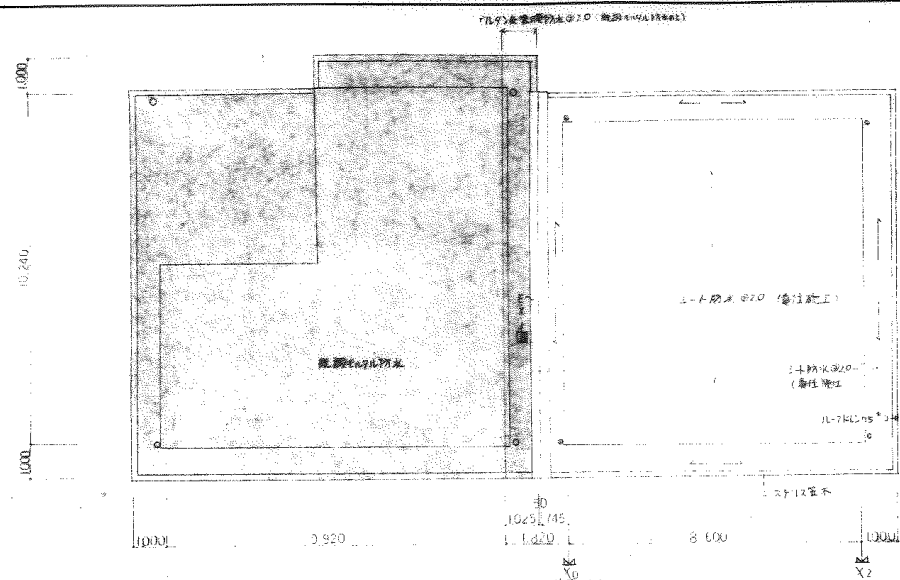
位置 数量	既設 網入窓	1
高さ	70	
網子	網入 網入窓 ガラス 607 x 607	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付), 網入 (1.0付)	



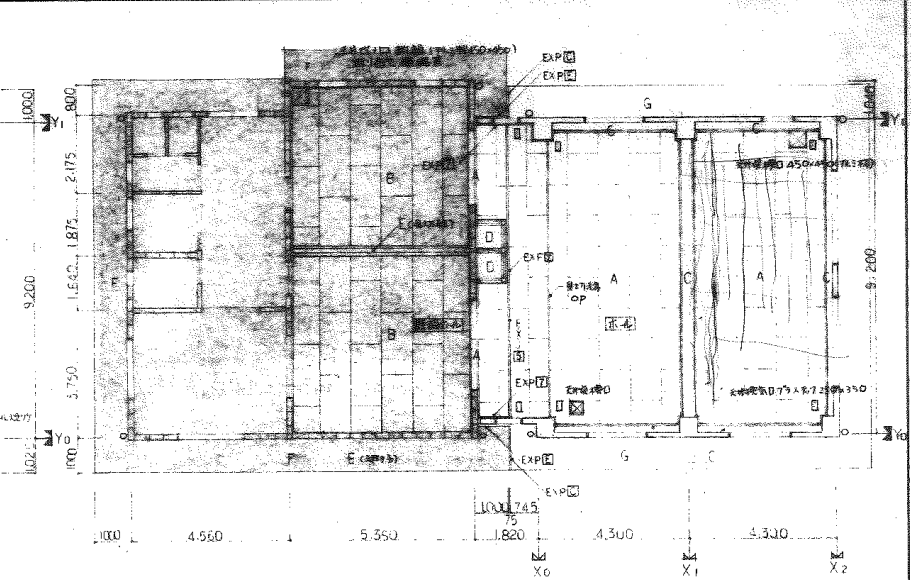
位置 数量	既設 網入窓	1
高さ	70	
網子	網入 網入窓 ガラス 607 x 607	
金網	メッシュ (0.7付)	
仕上	PL2	
備考	T/P 付 (1.0付), 網入 (1.0付), 網入 (1.0付)	



名称	清水住宅事務所増築工事	設計図
図面名称	建具リスト	1:50
図面番号	12	
設計		

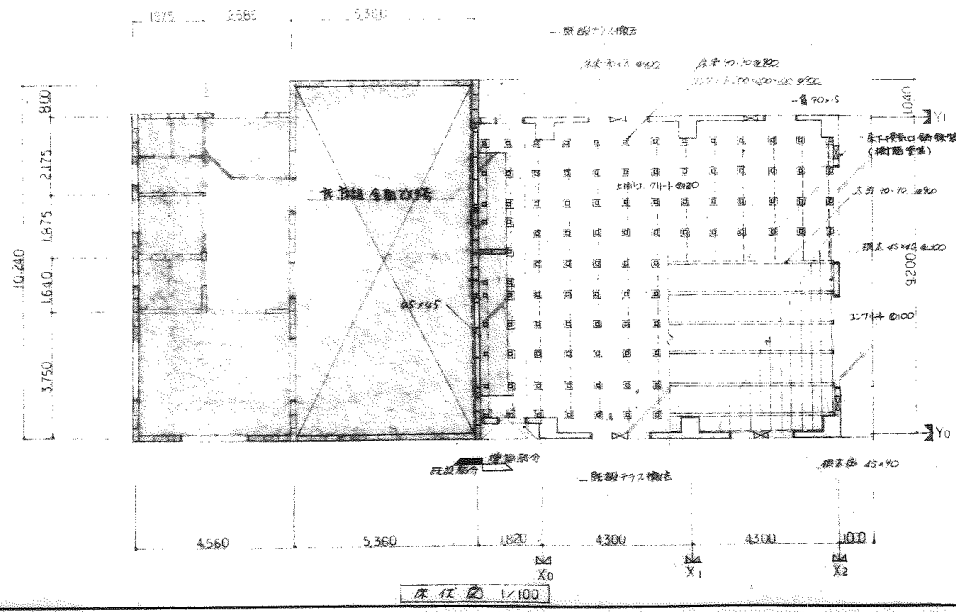


基礎断面 1/10



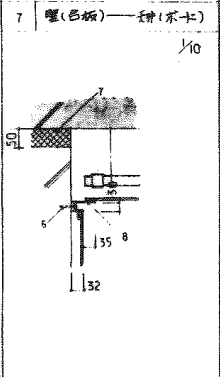
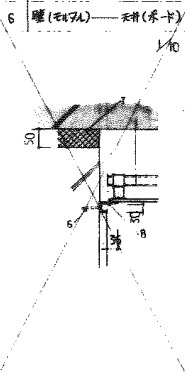
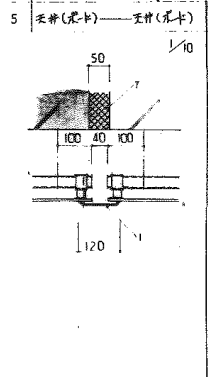
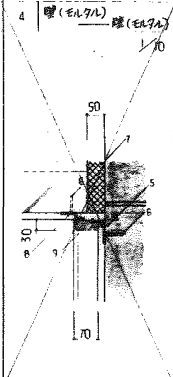
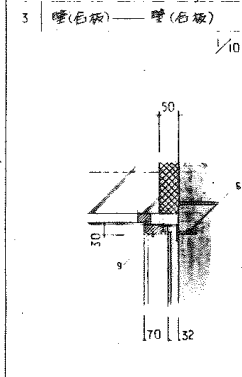
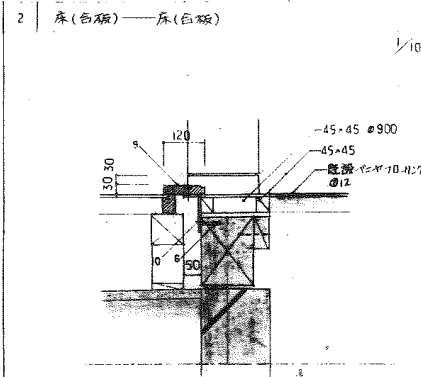
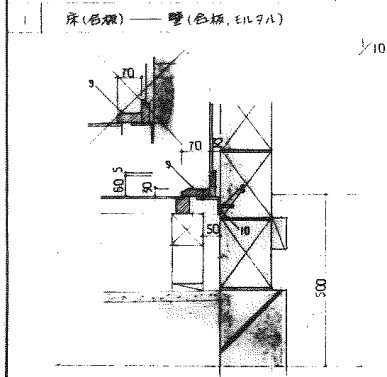
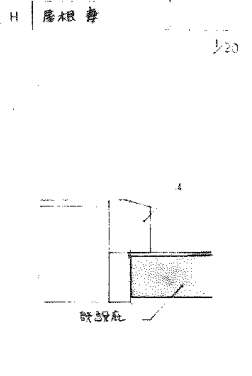
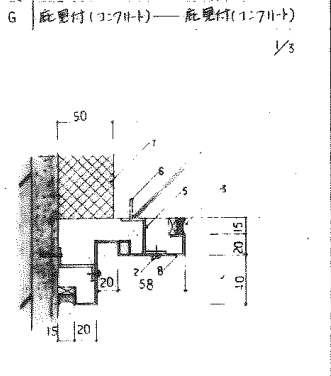
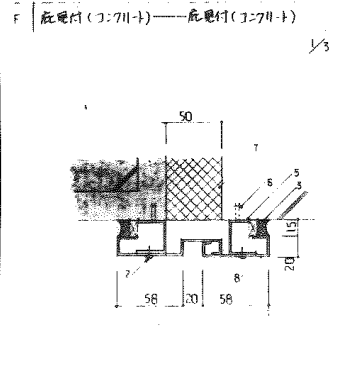
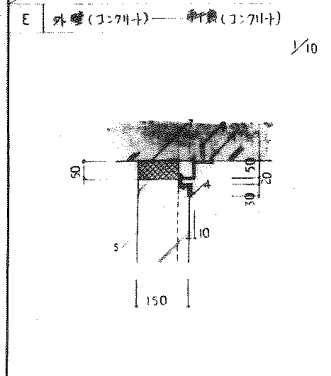
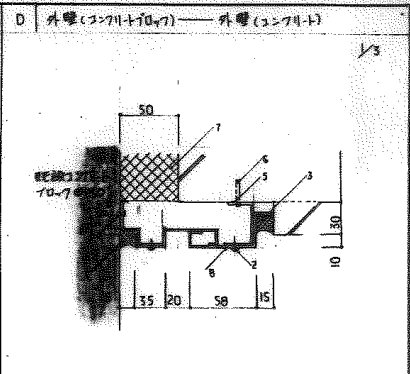
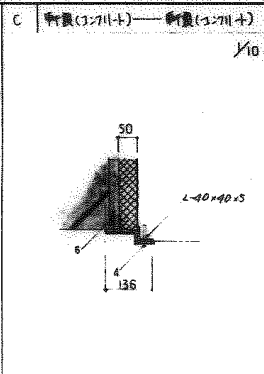
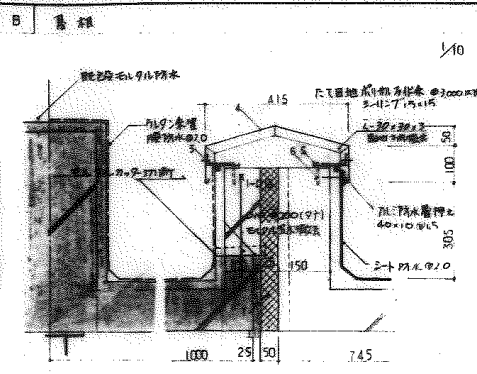
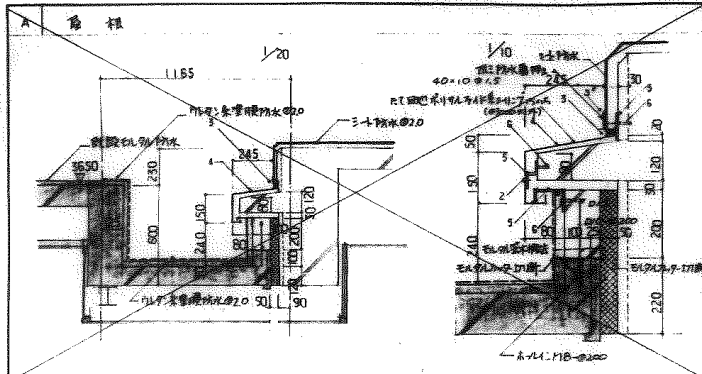
天井断面 1/100

符号	注
A	石膏ボード内透し部 EXP
B	EXP装置 (厚さ117-177-ボルト)
C	特殊加工石膏ボードS
D	石膏ボードE2
E	OP装置
F	AE412吹替
G	エコー付FT板 (L1AE412吹替)



床断面 1/100

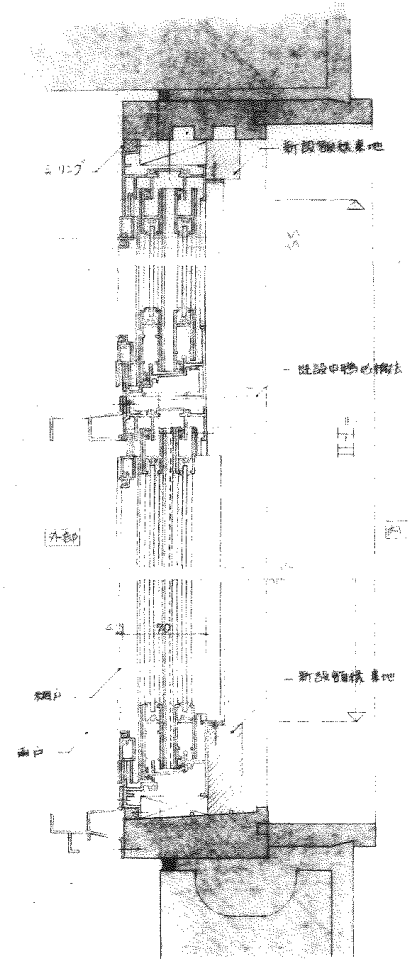
名称	清水住宅兼会所増築工事 設計図	
図面名称	基礎断面、床断面、天井断面	縮尺 1/100
図面番号	13	
設計		



1	孔三酸化鉄カドφ12	7	40×10φ1.5
2	カドプレート厚12×小径φ15×16φ600, 1100×厚板	8	カドプレートφ1.3 SUS304
3	木引有孔板厚15×15	9	125×35 OP
4	カドプレートφ16 SUS304	10	ガイドプレートφ32 R
5	ガイドプレートφ23 W100φ600		既設鋼筋床
6	木引有孔板厚18φ600	3	木引有孔板厚18φ10×10

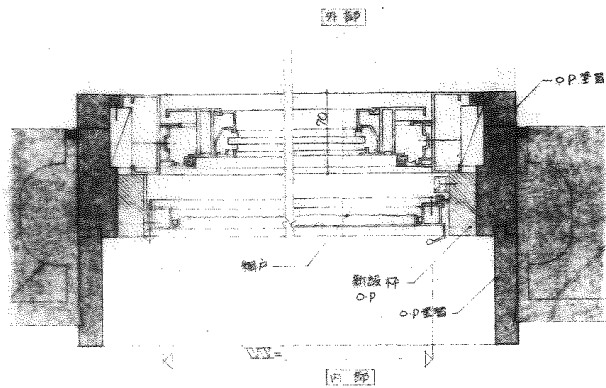
名称	清水建設事務所 建築工事	設計図
図面名称	E×F各加詳細図	1:3 1:10
図面番号	14	
設計		



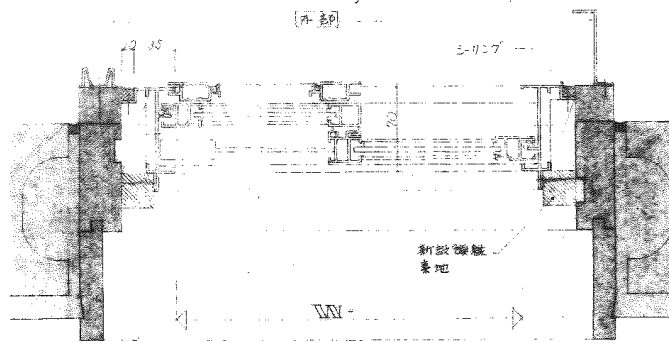


ラミア付引違、アルミサッシ 断面図 1/3

(南戸付)



とりまじり、アルミサッシ 断面図 1/3



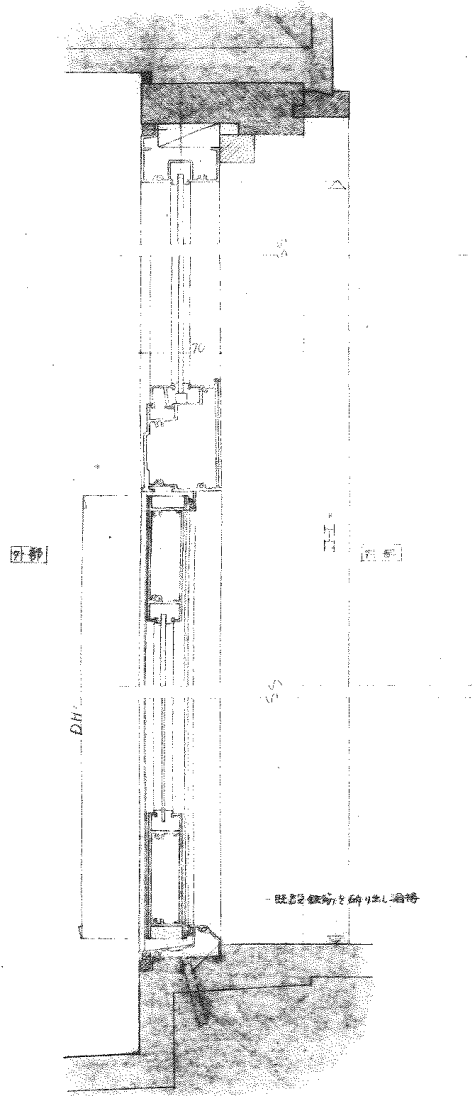
ラミア付引違、アルミサッシ 断面図 1/3

(南戸付)

特記事項

1. 本図に示す寸法、細目等は留意であり施工に際しては、現地  
実測により、施工図作成の工事監理の承認を受ける事
2. シロブはポリサルファイドとする
3. 既設建具は撤去後、断外処分とする(既設(非鉄))
4. 使用サッシは不二サッシ、旭硝工業、三井軽金属、岩田工業、  
三協アルミサッシ、日本軽金属、アルテ工業、旭硝アルミサッシ  
トヨーサッシ、豊和工業とLX仕面番号台幅定規R100<カーリス112
5. ホリス取付に使用するビス類はメーカー専売のものとする
6. [ ] 既設材を示す

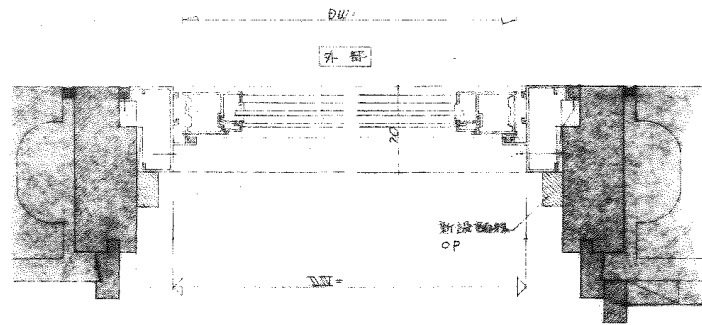
名称	清水住居集会所 修繕工事		設計図
図面名称	北-3 断面 標準 詳細 断面図 1	図 1	1:3
図面番号	15	頁	1
設計			



断面TILEK7-断面図 1/3



目地出部



内部

断面TILEK7-平面図 1/3

名称	清水住宅用エレベーター		設計図
図面名称	エレベーター標準詳細図 2	層	1-3
図面番号	16	頁	
設計			



# 鉄筋コンクリート構造配筋基準図 [1]

## 1 基準図目次

### 配筋基準図 [1]

- 1 基準図目次
- 2 特記事項
- 3 共通事項
- 4 鉄筋の末端部及び中間部の折曲げ
- 5 鉄筋の継手及び定着の長さ
- 6 主筋の相互のあきと隣接継手の位置

### 配筋基準図 [2]

- 7 鉄筋の最小かぶり厚さ
- 8 基礎及び基礎ばり
- 9 柱
- 10 帯筋

### 配筋基準図 [3]

- 11 大ばり
- 12 あばら筋
- 13 小ばり、片持ちばり及び投過いばり

### 配筋基準図 [4]

- 14 スラブ
- 15 梁
- 16 階段

### 配筋基準図 [5]

- 17 補強
- 18 縦配筋要領 (A-E)

### 配筋基準図 [6]

- 19 縦配筋要領 (F-J)
- 20 コンクリートブロック間仕切壁
- 21 ガス圧換、アーク溶接継手

## 2 特記事項

## 3 共通事項

### A 適用範囲

この配筋基準図は特記のない場合に適用する。

### B 凡例

記号

d ..... 鉄筋の直径 (異形鉄筋では呼び名に用いた数値、丸鋼では径)

h<sub>0</sub> ..... 柱の内り高さ。

l<sub>0</sub> ..... 有効スパン。

L<sub>1</sub> ..... 継手及びL<sub>2</sub>、L<sub>3</sub>を除く定着長さ (壁は特記による)

L<sub>2</sub> ..... 異形鉄筋で割れ破壊の恐れのない箇所での定着長さ。

L<sub>3</sub> ..... 小ばり及びスラブの下層筋の定着長さ (基礎耐圧版、これを受ける小ばりなどは除く)

..... 継手位置を示す。

..... 定着長を示す。

### C 鉄筋の表示

#### 1 鉄筋の表示記号

表示記号	丸鋼	異形鉄筋	D10	D12	D16	D19	D22	D25	D28	D32
鉄筋径	丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ	

- (1) この配筋基準図は主に異形鉄筋で表示するが、特記で丸鋼と指定されている場合は、その径と上表の筋径数値の径に読み替えるものとする。
- (2) 上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
- (3) 上記の表示記号は、この配筋基準図には適用しない。

#### 2 鉄筋の表示方式

表示方式	例	例
異形鉄筋 a-Dd	a: 本数 D: 呼び名	3-D16
丸鋼 dφ	d: 呼び名 φ: 間隔 / 距離	D10-φ200
丸鋼 n-dφ	n: 本数 d: 直径 φ: 丸鋼	3-16φ
鋼 dd-φ / d	dd: 直径 φ: 丸鋼 φ: 間隔 / 距離	9φ-φ250

## 4 鉄筋の末端部及び中間部

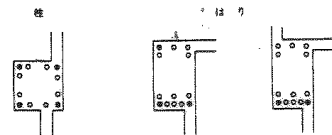
### A 末端部

下記の末端部にフックをつける。

#### 1 丸鋼

#### 2 異形鉄筋

- (1) 柱の隅隅にある主筋で、重ね継手及び最上層の柱頭にある場合。
- (2) はり主筋の重ね継手が、はりの出端及び下層の外側(下層)にある場合、ただし、基礎ばりを除く。



- (3) 壁奥の鉄筋。
- (4) 帯筋、あばら筋及び片持ちばり。
- (5) 基礎ばりの支保脚及び片持ちばり、片持ちスラブの上層筋の先端。
- (6) くい基礎の基礎筋。

### 水端部の折曲げの形状

曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		SR24, SRR24, SDR24	SD30, SD35	SD40	
180°		D: 34以上 44以上 44以上	I: 114以上 124以上 144以上	10dかつ150mm以上	柱、はりの主筋及び10mm (D16をきむ)以上の鉄筋
135°		D: 34以上 44以上 44以上	I: 114以上 124以上 144以上	10dかつ150mm以上	13mm以下の鉄筋、並びにあばら筋、帯筋、スライフル筋及びスラブ筋
90°		D: 34以上 44以上	I: 114以上 124以上	10dかつ150mm以上	下層及びはりのあばら筋
135°/90°		D: 34以上 44以上	I: 114以上 124以上	10dかつ150mm以上	90° 135° 止りの筋

- (注) 1 Dは曲げ内径寸法  
2 L<sub>1</sub>はフック部分の長さ

### B 中間部

### 中間部の折曲げの形状

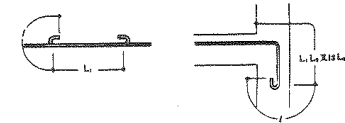
曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所
		SR24, SRR24, SDR24	SD30, SD35	SD40	
90°以下		D: 34以上 44以上	I: 114以上 124以上	10dかつ150mm以上	あばら筋、帯筋、スライフル筋
		D: 54以上 64以上	I: 134以上 144以上	10mm以下のスラブ筋、壁筋	
		D: 64以上 84以上	I: 144以上 164以上	10dかつ150mm以上	上記以外の鉄筋で、丸鋼は28mm以下、異形鉄筋はD28以下
		D: 84以上 104以上	I: 164以上 184以上	10dかつ150mm以上	上記以外の鉄筋で、丸鋼は28mm以下、異形鉄筋はD28以下

## 5 鉄筋の継手及び定着の長さ

### A Fo ≧ 210 (kg/cm<sup>2</sup>) の場合

鉄筋の種類	設計基準強度 F <sub>o</sub> (kg/cm <sup>2</sup> )	フックなし			フックあり		
		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>
SR24, SRR24	210以上	---	---	---	25d	25d	150mm
SD24, SDR24	210以上	30d	25d	25d	10dかつ150mm以上	20d	15d
SD30, SD35	210以上	40d	30d	25d	10dかつ150mm以上	20d	15d
SD40	210以上	45d	35d	25d	10dかつ150mm以上	20d	15d

- (注) 1 L<sub>1</sub>: 継手並びに下記2, 及び3以外の定着長さ。
- 2 L<sub>2</sub>: 異形鉄筋で、割れ破壊のおそれのない箇所での定着長さ。
- 3 L<sub>3</sub>: 小ばり及びスラブの下層筋の定着長さ、ただし、基礎耐圧版これを受ける小ばりなどは除く。
- 4 フックのある場合のL<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>、L<sub>3</sub>は、図に示すようにフック部分Iをきまない。



### B Fo ≧ 180 (kg/cm<sup>2</sup>) の場合

鉄筋の種類	設計基準強度 F <sub>o</sub> (kg/cm <sup>2</sup> )	フックなし			フックあり		
		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>3</sub>
SR24, SRR24	180以上	---	---	---	40d	40d	150mm
SD24, SDR24	180以上	35d	30d	25d	10dかつ150mm以上	25d	15d
SD30, SD35	180以上	45d	40d	25d	10dかつ150mm以上	35d	15d

(注) 上記Fo ≧ 210 (kg/cm<sup>2</sup>) の場合の値による。

名称	鋼筋コンクリート構造配筋基準図(1)		設計
図番	17	製	
設計			

# 鉄筋コンクリート構造配筋基準図 (2)

## 6 主筋の相互のあきと隣接継手の位置

**A 主筋の相互のあき**  
鉄筋のあきの最小値

	あき
角形鉄筋	公称直径の1.7倍 配筋材最大寸法の1.25倍 25mm
丸形鉄筋	鉄筋径の1.5倍 配筋材最大寸法の1.25倍 25mm

鉄筋のあきは上表中最大のものとす。

**B 主筋の隣接継手の位置**

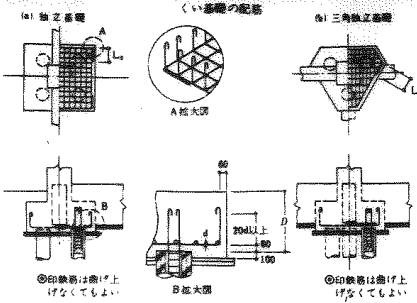
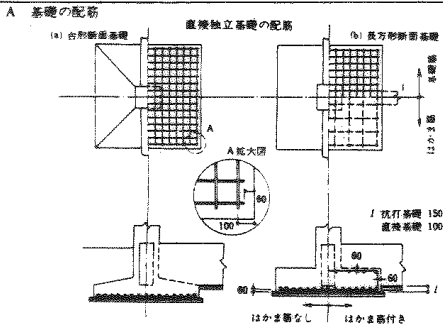
フックのある場合 $a \geq 1.5d$ かつ $a \geq 25mm$	
フックのない場合 $a \geq 1.5d$ かつ $a \geq 25mm$	
ガス圧接の場合 $a \geq 400mm$	
電気接合 $a \geq 400mm$	

## 7 鉄筋の最小かぶり厚さ

土に接しない部分	構造部分の種類		すべてのコンクリート	
	床スラブ、壁、柱、耐力壁以外の部分	仕上げあり		仕上げなし
土に接する部分	柱	内	仕上げあり	30 (30)
		外	仕上げあり	30 (30)
	耐力壁	内	仕上げあり	30 (30)
		外	仕上げあり	40 (40)
基礎、埋設	柱、はり、床スラブ、耐力壁		40 (40)	
	基礎、埋設、耐圧スラブ		40 (50)	
重要な部分			60 (70)	
重要でない部分			60	

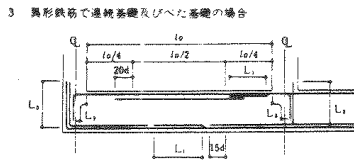
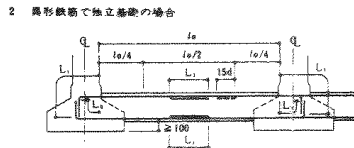
- 特殊コンクリートの場合は( )内の数値による。
- 仕上げありとは、モルタル塗りなどの仕上げのあるものを指す。吹付塗膜などの鉄筋の耐力上有害でない仕上げのものを除く。
- 床スラブ、はり、基礎及び埋設で直線部分に接する部分のかぶり厚さは、捨てコンクリートの厚さを要しない。
- くい基礎の場合のかぶり厚さは、くい天端からとする。

## 8 基礎及び基礎ばり

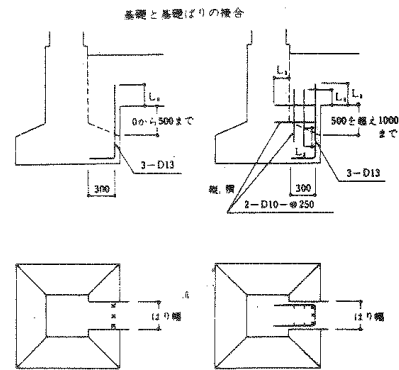


## B 基礎ばり筋の継手及び定着

- 一般事項
  - 独立基礎で基礎ばりに床スラブがつく場合、及び図2・3で図示のない事項は、大ばりの理による。
  - 上端が筋の定着はやむを得ない場合、上向きとすることができる。

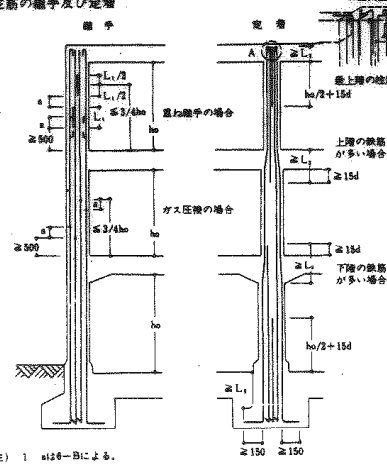


## C 基礎接合部の補強

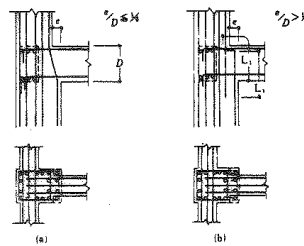


## 9 柱

### A 鉄筋の継手及び定着



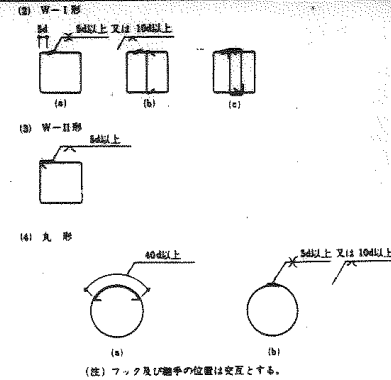
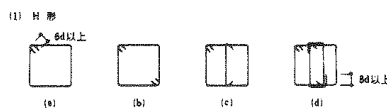
### B 柱筋の絞り



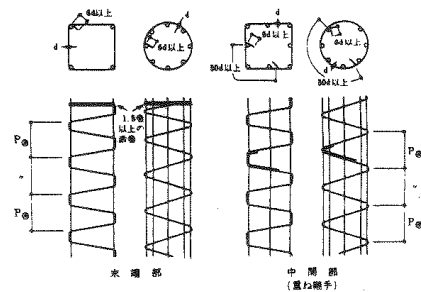
## 10 帯筋

### A 形状

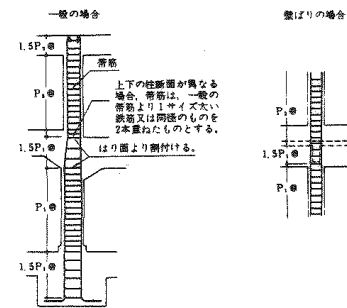
- 帯筋組立ての形は、下図とし、種別は特記による。ただし特記がなければ下記による。
- H形とする。
  - H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
  - 更に、W-I形が困難な箇所は、風管具の承継を受けてW-II形とすることができる。



### B スパイラル筋の継手及び定着



### C 帯筋の割付け



(注) 帯筋の種及び間隔は特記による。

名称	赤木住宅会館建築工事 設計図書
図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋基準図
図面番号	10
作成	

鉄筋コンクリート構造配筋基準図 ③

11 大ばり

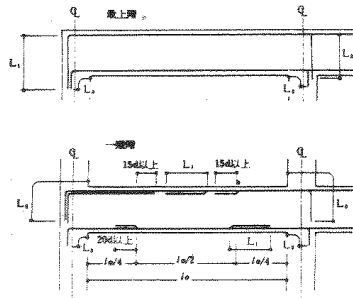
A 大ばり筋の継手及び定着

1 一般事項

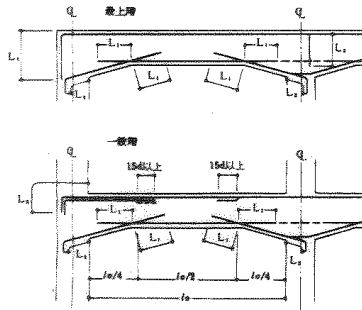
- 継手及び定着中心位置は下記による。  
上層筋—中央部 $l_0/4$ 以内  
下層筋—両端部 $l_0/4$ 以内
- 継手長さは $l_0$ とし、定着長さ及び寿命は次の2・3による。
- はり筋で、柱をまたいで引通すことのできないものは、原則として柱内に定着する。
- はり筋を柱内に定着する場合は、柱の中心線を超えてから縦に曲げ継ぎする。
- はりにハンチをつける場合、その継ぎは、特配がない場合は、1・4とする。
- 段違いばりは、縦骨員の承継を受けて、下記によることである。



2 異形鉄筋でハンチのない場合



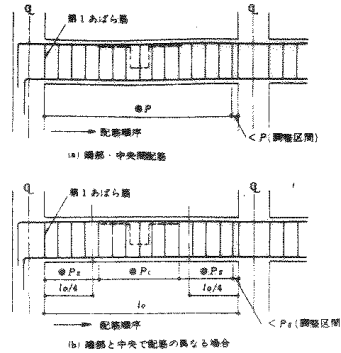
3 異形鉄筋でハンチのある場合



- ハンチのない継部下層筋は、原則として引通し、残りの鉄筋は、柱内に定着する。
- はり内定着の継部下層筋が指定するときは一層のように引通してもよい。
- 4-Aで定めた鉄筋にはフックをつける。

12 あばら筋

A あばら筋の制付け



B あばら筋、覆筋及び幅止の筋

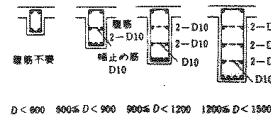
- あばら筋の巻及び幅止は、特配による。
- あばら筋巻立ての形及びフックの位置



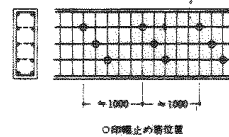
- フックの位置は、(a)の場合は交互とし、(b)の場合は、L形ではスラップのつくり、T形では交互とする。

C 覆筋および幅止の筋

はりせい $mm$	覆筋	幅止
$D < 600$	不	要
$600 \leq D < 900$	2-D10(1段)	
$900 \leq D < 1200$	4-D10(2段)	
$1200 \leq D < 1500$	6-D10(3段)	



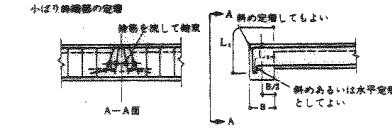
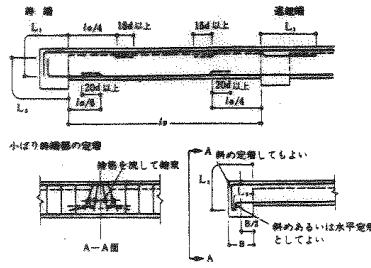
覆筋が2段以上の場合の幅止の筋位置



- 覆筋が2層以上の場合は、幅止の筋は同一位置に設ける。乱にしたほうがよい。

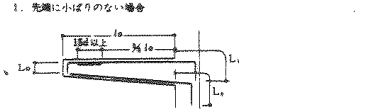
13 小ばり、片持ちばり及び段違いばり

A 小ばり筋の継手及び定着

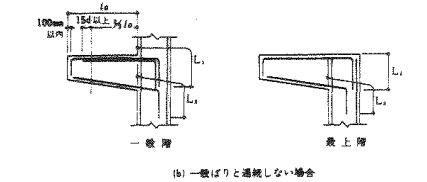
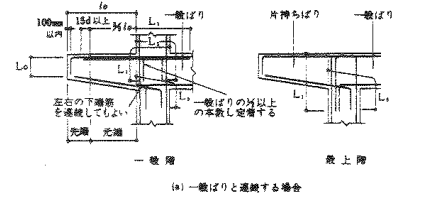


- 図示のない事項は大ばりの項による。
- 終端になる場合の図すみの鉄筋は、大ばり内に納めに定着する。

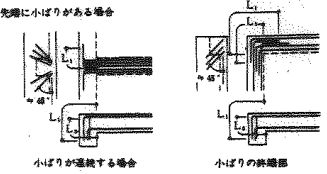
B 片持ちばり筋の定着



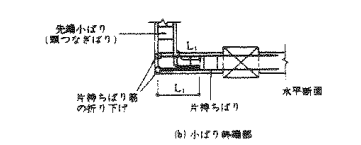
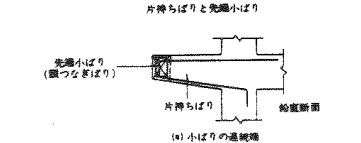
- 図示のない事項は大ばりの項による。
- 先端の折り曲げの $l_0$ は、はりせいよりかより厚さを除いた長さとする。
- はり筋を引き通さない場合は、取合い部に定着する。ただし、柱に取合う場合は、全数引き通せる場合でも上層筋は、2米以上を柱に定着する。



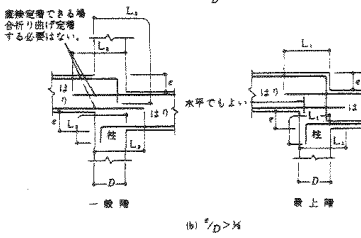
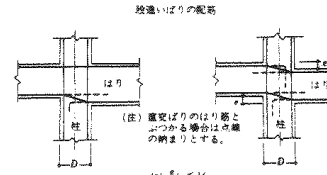
2. 先端に小ばりがある場合



- 図示のない事項は、先端に小ばりのない場合による。
- 上層筋は、小ばり内に納めに定着する。



C 段違いばり



名称	清水住宅会館付環境工事	設計図
図面名称	鉄筋(1/7)上構五層(外廊部)	部
図番	10	製
設計		

# 鉄筋コンクリート構造配筋基準図 [4]

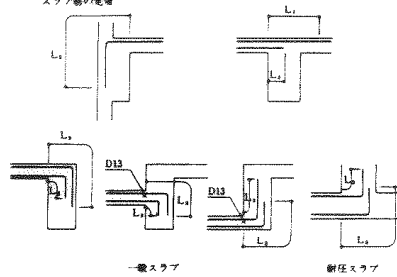
## 14 スラブ

### A 一般事項

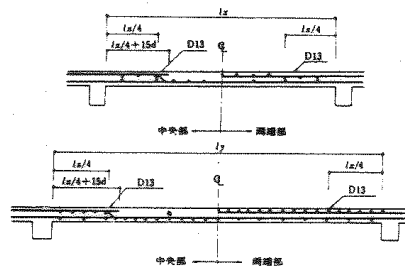
- 1 スラブリングの配筋種類及び厚さは特記による。
- 2 鉄筋の継手の長さは、 $L_d$ とする。
- 3 パーサポートはコンクリートブロックを使用することもできる。

### B 定着長さ及び受け筋

スラブ筋の定着

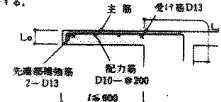


### C 縦断スラブリングの配筋



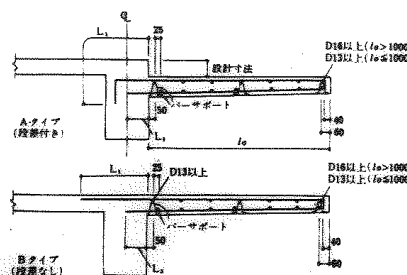
### D 片持ちスラブ

片持ちスラブ先端部及び三辺固定スラブリングの自由端には下図により補強筋を配置する。

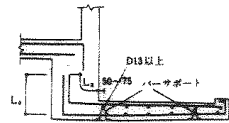


(注) 先端の折曲げ長さは $L_d$ 、スラブ長さよりかなり厚さを除いた長さとする。

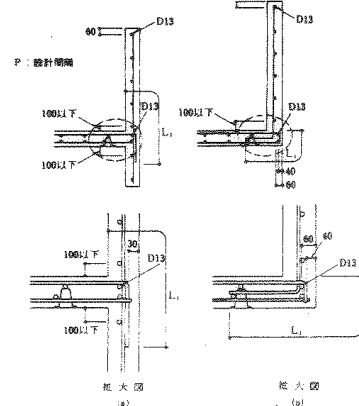
### 1 片持ちスラブリングのタイプ



## 2 連Tスラブリングの定着



## 3 片持ちスラブリング先端と手すりとの納まり



## 15 壁

### A 一般事項

- 1 壁配筋の継手及び定着の長さは、 $L_d$ とする。
- 2 土圧などを受ける壁及び射撃壁として特記されたものは、継手長さ、及び定着長さも $L_d$ とする。
- 3 継手及び定着のなれな場合、監督員の承認を受けて、造作補強筋5d又は巾10dとすることができる。
- 4 補止の筋は、縦、横共にD10:9d(φ)〜φ1000程度とする。

### B 壁の基準配筋

壁の基準配筋は下表により、種別は特記による。  
なお外部に面する壁壁及び射撃壁の配筋は、F表による。

種別	断面図	縦筋及び横筋
W10		D10 - φ250 シングル
W12		D10 - φ200 シングル
W15 A		D10 - φ150 シングル
W15 B		D10 - φ100 シングル
W18 A		D10 - φ200 ダブル
W18 B		D10 - φ150 ダブル
W20 A		D10 - φ200 ダブル
W20 B		D10 - φ150 ダブル

(注) 特記なき場合はAによる

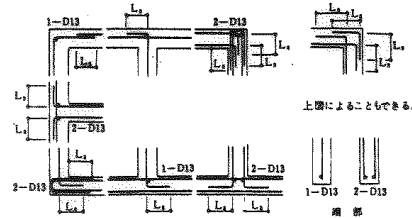
### C 階段受け壁

片持ちスラブリング階段を受ける壁の配筋は下表により、種別は特記による。

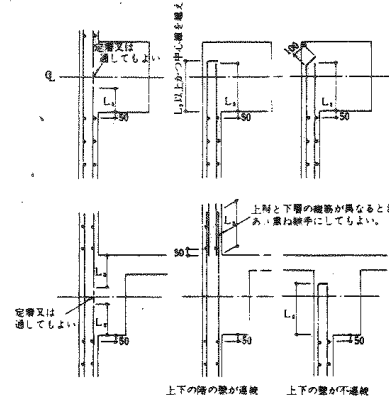
種別	断面図	縦筋及び横筋
KW, 150		縦筋 D13 - φ200 ダブル 横筋 D10 - φ200 ダブル
KW, 200		縦筋 D13 - φ150 ダブル 横筋 D10 - φ200 ダブル

(注) 縦筋は、階段の外側に配筋する。

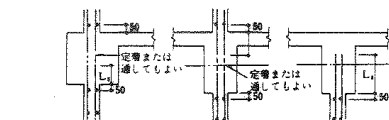
## D 交差部及び端部の配筋



## E 壁筋の配筋



(a)の配筋 (b)の配筋  
注: はり中心部に壁があるときの壁筋の納まり



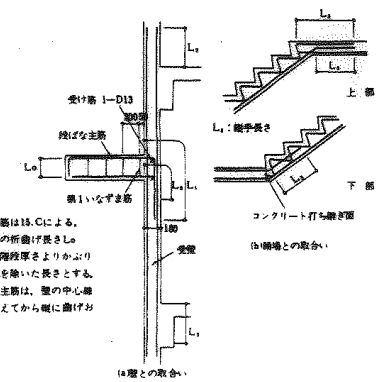
## F バラベット及び外部に面する壁壁、垂れ壁の配筋

施工箇所	コンクリート厚さ	方向	配筋	先端補強筋
バラベット	180	縦	D10 - φ150 ダブル	4-D13
		横	D10 - φ200 ダブル	
外部に面する壁壁、垂れ壁	120	縦	D10 - φ200 シングル	2-D13
		横	D10 - φ100 シングル	
	150	縦	D10 - φ150 シングル	

## 16 階段

### A 片持ち階段

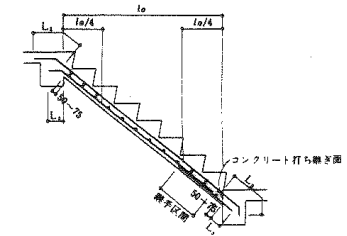
階段受壁および踊り場との納まり



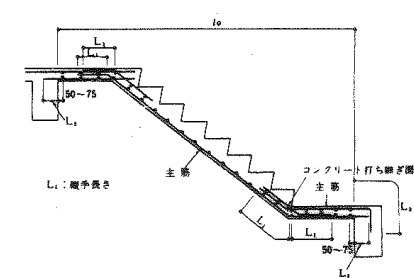
- (注) 1 壁配筋はB.Cによる。  
2 先端の折曲げ長さは $L_d$ は、階段厚さよりかなり厚さを除いた長さとする。  
3 階段主筋は、壁の中心線を中心から壁に曲げおろす。

### B スラブリング階段

#### 1 スラブリング階段-1形の配筋



#### 2 スラブリング階段-2形の配筋



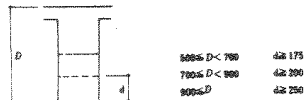
名称 清水住宅集合環境建築設計  
 図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋基準図(4)  
 図番付 20

# 鉄筋コンクリート構造配筋基準図 (5)

## 17 補強 特記による。特記のない場合は下記による。

### A はり貫通孔の補強

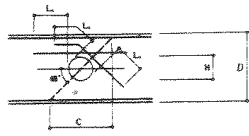
- 1 孔が円形でない場合は、外縁円孔におきかえて適用する。
- 2 孔の上下位置は、はりせいの中心付近とし下記による。



600≦D<700 4φ175  
700≦D<900 4φ200  
900≦D 4φ250

- 3 孔の中心位置は他及び固定するはり(4はり)の端から1.2D以上はなすことを原則とする。
- 4 孔の縦筋ははりせいの外以下とし、また孔が連続する場合は、その中心間隔を孔径の3倍以上とする。
- 5 補強筋は原則として主筋の内側とする。
- 6 鉄筋の定容長を。

孔補強の有物範囲および定容長さのとり方



(注) 孔補強の有物範囲は孔中心より4φ以内の範囲である。

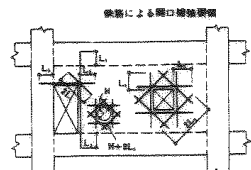
- 7 縦筋はあばら筋とみなす。
- 8 補強は下表による。

(H≦D/3、はり幅≦400)

適用範囲	孔周補強筋	配筋図
50<H<100	筋の 2-2-D13	
	縦 2-2-D13	
	横 なし	
S.T.P. 2-L 本孔並列の場合は縦2-2-D13を入れる		
100<H≦200	筋の 4-2-D13	
	縦 2-2-D13	
	横 2-2-D13	
S.T.P. 3-2-D13		
200<H≦300	筋の 4-2-D18	
	縦 2-2-D13	
	横 2-2-D13	
S.T.P. 4-2-D13		
300<H≦400	筋の 4-2-D22	
	縦 4-2-D13	
	横 2-2-D18	
S.T.P. 6-2-D13		

### B 壁、スラブ開口部補強

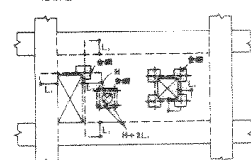
#### 1 壁の開口部補強



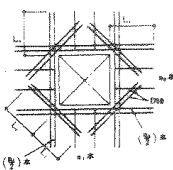
(注) 出入口開口の縦筋は上下のはりに変更する。

壁の幅別	補強筋
W <sub>1</sub> ≦W <sub>2</sub> W <sub>2</sub> ≦2L <sub>1</sub>	1-D13 1-D13
W <sub>1</sub> ≦W <sub>2</sub> W <sub>2</sub> >2L <sub>1</sub>	2-D13 2-D13

#### 扉枠金網・鉄筋帯子による開口補強



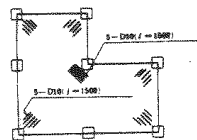
#### 2 スラブの開口部補強



スラブ開口部の径が900以下の場合左図により、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で補強し隅角部に鉄筋の方向に2-D10(≧2L<sub>1</sub>)を上下筋の内側に配置する。

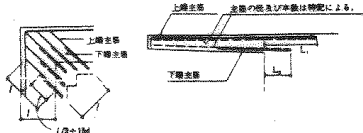
### C スラブくわい角部の補強

直線スラブの出隅及び入り隅部分には、下図により、補強筋を上層筋の下側に配置する。



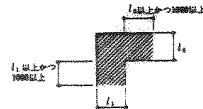
### D スラブの出隅部の補強

#### 1 主要部

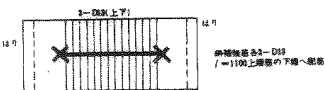


### 2 配筋部

出隅部(下層のハッチ部分)は、14.D.1(スラブ先端部)の配筋筋をD10-φ100とする。



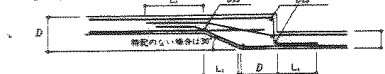
### E 階段補強筋



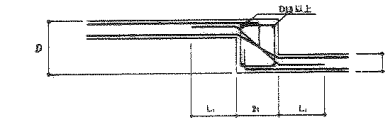
## 18 雑配筋要領 特記による。特記のない場合は下記による。

### A 段違いスラブの配筋

#### 2l>Dの場合

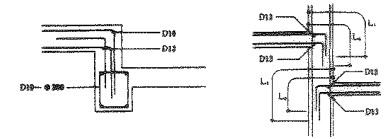


#### 2l≦D≦3l



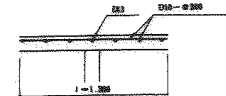
(注) □ D10スラブ上層筋と同閉鎖  
△ スラブ上層筋と同閉鎖

### B スラブとはり又は壁との組合せ部分



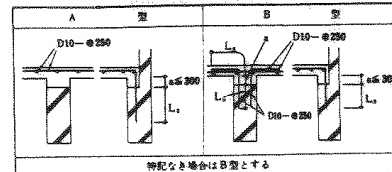
### C 壁つきスラブ

スラブに上層筋がなく、壁がスラブの下端についている場合には、下面の補強筋を入れる。



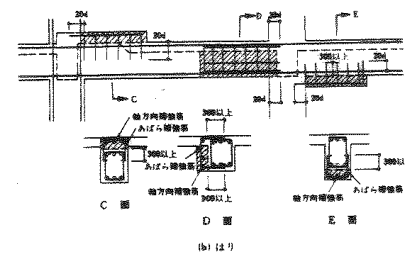
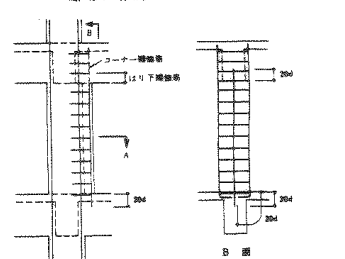
### D 土間コンクリート

土間のコンクリートに補強筋を入れる場合は下図による。

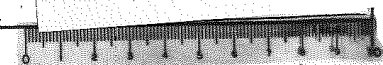


### E 柱、はり打増コンクリート

柱、はりの打増しコンクリート補強筋



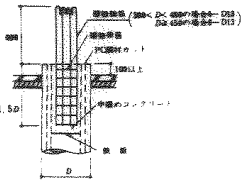
名称 清水住宅集合住宅増築工事  
 図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋基準図(5)  
 図面番付 21



# 鉄筋コンクリート構造配筋基準図 (6)

## F くい頭部の補強と基礎配筋

(くい頭部は特記による。特記なき場合は下図による。)



## G 2段配筋の保持金物



6以上使用  
高さ3.0m

## H はり断面の2段筋非対称配筋

はり断面2段筋の対称配筋と非対称配筋

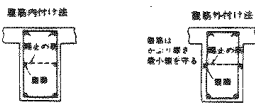


## I 2段配筋の保持金物



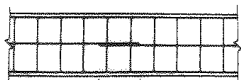
(注) 2段配筋保持金物は6φ以上  
φ500~600とする。

## J 腹筋および幅止の筋



はり中間部の腹筋

幅止の筋の加工



腹筋を撤去する場合

# 19コンクリートブロック間仕切壁(外壁・内壁)

## A 一般事項

1 鉄筋の重ね継手(継ぎ手)などの継手を除く1及び定規の長さは下表による。

継手	定規	継手または定規部分の高さ	
		実形鉄筋 の長さ(寸法)	丸鋼(寸法)
引張力の大 きい箇所、開 き、配力筋を はりまたは柱に 口部の範囲な どにおける配 力筋	継ぎ手の全長および引張力の大 きい箇所、開き、配力筋をはりまたは柱に 口部の範囲などにおける配 力筋に定規する場合	40d	30d
その他の箇所	その他の場合	25d	20d

- 2 継ぎ手入部は、標準用ブロックを使用し、端部は定規長さを十分に取る。
- 3 継ぎ手入部は、継ぎ手を設けずに行わない。ただし、重ね長さ5d以上は  
公称直径以上の縦筋を設ける場合は、継ぎ手を設けることができる。
- 4 鉄筋に対するコンクリート又はモルタルの塗り厚さは、20以上とする。
- 5 コンクリートブロック間仕切壁、間仕切小壁

等 寸	間 隔	間 隔	高 さ
12cm以上	10cm	12.5d	まで
高さ10cm以下の部分では	12cm	15.5d	まで
10cm以上	15cm	17.5d	まで

間仕切壁配筋

上部配力筋共にD10以上φ80cm以下

間仕切小壁

埋入高さ

12cmブロックでは9dまで

種 類	主 筋		配 力 筋
	S&1.1mの部分	1.1m<S&1.8mの部分	
10m以下の部分	D10-φ800	D10-φ400	D10-φ800
10mをこえる部分	D10-φ400	D10-φ400	D10-φ600

S: 特記し継ぎ手の距離m

主筋: 特記し方向の鉄筋

6 コンクリートブロック外壁、外壁小壁

種 類	壁 厚 さ (cm)	
	一 般 規 格	小 型 規 格
10m以下の部分	15 かつ 1/25	15 かつ 1/15
10mをこえる部分	15 かつ 1/20	15 かつ 1/10

l<sub>1</sub>: 主要支間距離 cm l<sub>2</sub>: 持ち出し長さ cm

種 類	埋 入 高 さ	
	一 般 規 格	小 型 規 格
高さ10m以下の部分	12cm 15 段	13cm 9 段
高さ10mをこえる部分	15cm 17.5d	15cm 9 段
	15cm 15 段	15cm 7.5d
高さ10mをこえる部分	15cm 19 段	15cm 19 段

種 類	配 筋		配 力 筋
	l <sub>1</sub> ≤ 2.0m	2.0m < l <sub>1</sub> ≤ 3.0m	
高さ10m以下の部分	D10-φ800	D10-φ800	D10-φ800
高さ10mをこえる部分	D10-φ800	D10-φ400	D10-φ800

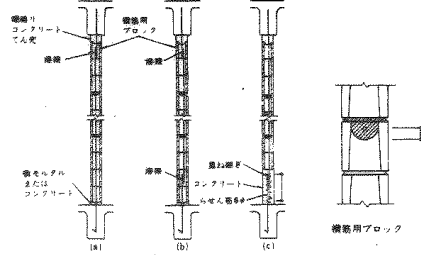
l<sub>1</sub>: 主要支間距離

種 類	主 筋		配 力 筋
	S&1.1mの部分	1.1m<S&1.8mの部分	
高さGLから10m以下の部分	D10-φ800	D10-φ400	D10-φ800
高さGLから10mをこえる部分	D10-φ400	D10-φ400	D10-φ800

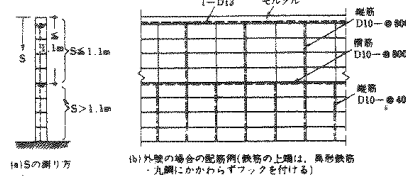
S: 特記し継ぎ手の距離m

主筋: 特記し方向の鉄筋

小壁鉄筋の伸張し継ぎ手、開口部の間隔はD13(φ13)以上を使用する。



鉄筋コンクリート壁とブロック間の取付例(あと積みの場合)



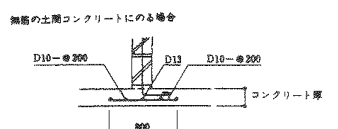
## B まくさ

まくさは鉄筋コンクリート造とし、下記による。



(注) まくさの幅は、ブロック厚さと同じとする。

## C 土間コンクリートにのる場合



# 20 ガス圧接・アーク溶接継手

## A ガス圧接継手

1 ガス圧接の作業は技能検定に合格した者に限る。  
その作業範囲は下表による。

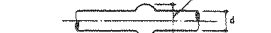
作業資格 種 別	作業可能範囲		尺 寸 詳 細
	鉄筋の種類	接 合 部	
1 種	SR24 SR30 SD24 SD30 SD36 SD40	接 合 部 D25以下	25mm以下 伸び名 D25以下
2 種	SR24 SR30 SD24 SD30 SD36 SD40	接 合 部 D32以下	
3 種	SR24 SR30 SD24 SD30 SD36 SD40	接 合 部 D38以下	
NAK4 種	SD24 SD30 SD36 SD40	伸び名 D41およびD51	

## 2 突き合せの取り



## 3 圧接部の形状

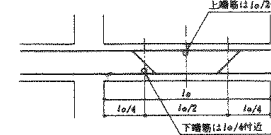
圧接部のよけの取



## 4 異径鉄筋の圧接

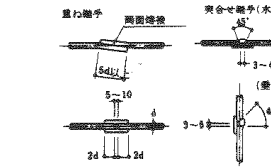


## 5 圧接の継手位置



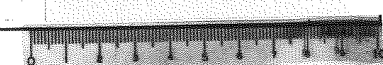
ガス圧接継手は3φD36以下の鉄筋に適用する。

## B アーク溶接継手の形状(やむをえず行う場合)

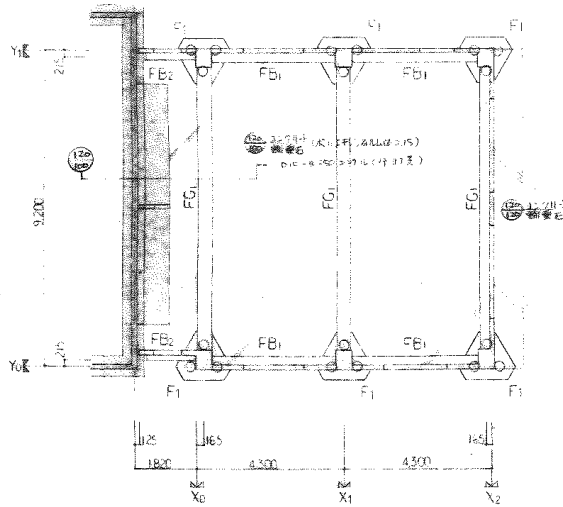
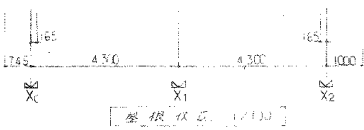
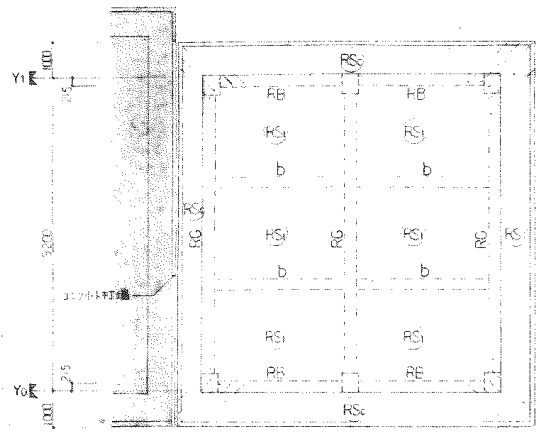


添え材継手(添え材の断面は鉄筋断面より大き(す。))

名 称	土木作業者の実地実習
面 名	鉄筋コンクリート構造配筋基準図(6)
問 番	22
設 計	
監 査	



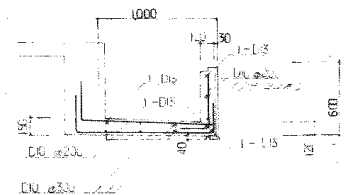
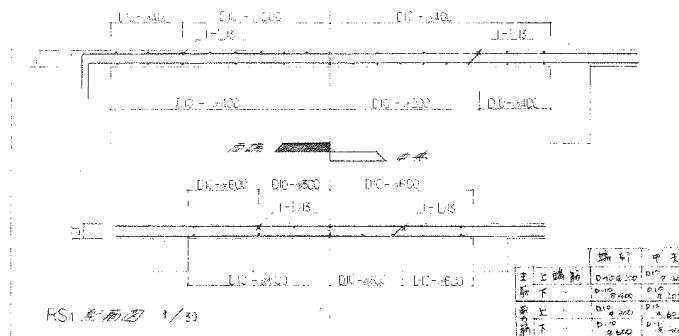




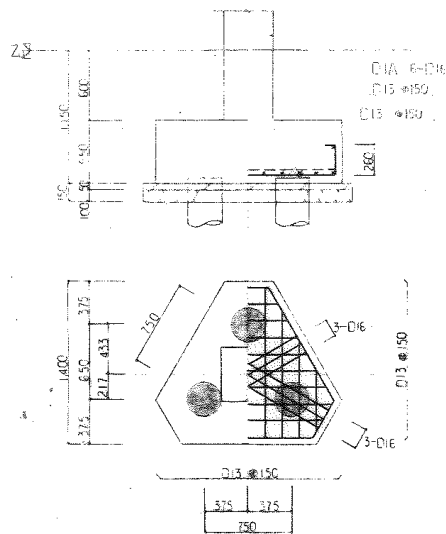
基礎位置 (1/100)

(注) W=120  
 柱はRC 300x400 のアンカーボルト (鉄筋形状詳図) を用いて基礎に埋入。基礎はRC 300x400 (本図に準拠) である。

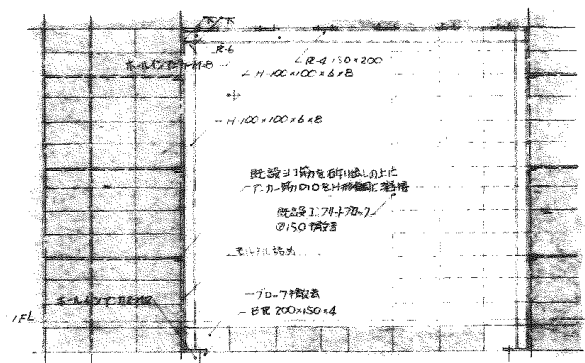
柱種	FG, FB	FB2	梁種	IC	梁種	RC	梁種	RB	b
断面			断面		断面				
筋種	2 - D22	3 - D22	筋種	8 - L22	筋種	3 - D22	2 - L22	2 - D22	2 - L19
筋径	2 - D22	3 - L22	筋径	D13 - φ150	筋径	2 - D22	4 - L22	2 - D22	3 - D16
筋間隔	4 - L18	2 - L18	筋間隔	D10 - φ600	筋間隔	2 - D15	2 - D15	L - L15	
その他	D10 - φ150	D13 - φ150			その他	L10 - φ200	D10 - φ200	D10 - φ200	D10 - φ200



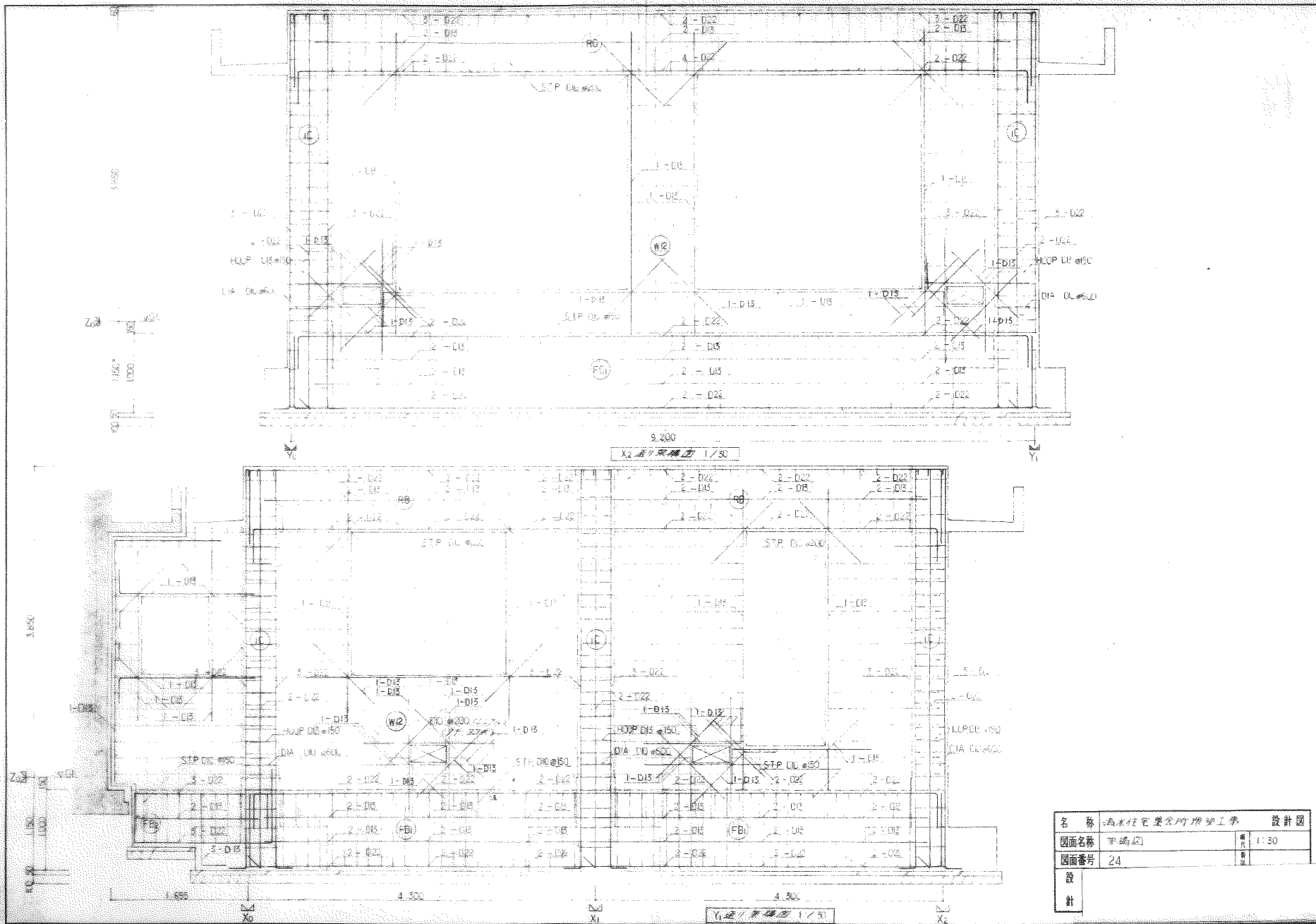
部材名	RS1	RSC
数量	1	1
単位	m	m
合計	1	1



F1 基礎詳細 (1/30)



名称	流氷滞在集合所の増築工事	設計図
図面名称	基礎位置 (1/100)	
図面番号	23	
設計		



名稱	為水住宅建築的初步工程 設計圖	
圖面名稱	平橋圖	1:30
圖面番號	24	
設計		

特記仕様書

章	節	項目	特記事項 (細則類)										
1	1	1 第 一 般 事 項	<p>1.1.1 適用規格等</p> <p>1. この特記事項以外は、下記に準拠する。ただし、本工事に関係のない項目は、適用しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適用規格表参照</li> <li>2) 工事標準仕様書</li> <li>3) 東京都住宅局監修 公共住宅建設工事共通仕様書(昭和57年度版)</li> </ol> <p>2. 本工事に使用する資材は、「電気工事標準資材メーカーリスト」に定めるものとする。</p> <p>3. 別記製品と指定した材料は別記の仕様のあるものとする。</p>										
		1.1.2 設計図書											
		1.1.4 施 工											
		2 第 二 次 事 項											
2	1	1.2.1 解体・養生などの処理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引渡しを要するものは、撤去物の積り場所を指定し、リスト表を作成し、監督官に引渡す。</li> <li>2. 引渡しを要しないものは、下記撤去物の積りにより集約撤去処分とする。</li> </ol>										
		1.2.2 撤去物の積り	<p>撤去物の積り指定 撤去物の積り及び積り場所(昭和59年4月)による。</p>										
3	1	1.3.4 撤去物等	<p>撤去しない 撤去する(撤去工事と共同設置)</p>										
		7 附 記 設 計	<p>1.7.1 記 録</p> <p>工事写真</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 工事中 由右図に示す位置に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影記録すると共に特に施工後、撤去又は埋設される部分は、資材等に仮設テープを貼付撮影すること、由右図を撮影し、監督官の指示により適宜提出する。</li> <li>2) 完成時 由左図に示す位置に所定事項を明記の上、撮影記録する。</li> </ol> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td></td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年月日</td> <td>4.5.0</td> </tr> </table>	氏名		名称		位置		工期		備考	
氏名													
名称													
位置													
工期													
備考													
年月日	4.5.0												
4	1	1.7.2 ショールームその他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工事完了前に、下記ショールームを指定し、又はA、Bで作成し提出する。</li> <li>1) 撤去物 2) 写真 3) その他</li> </ol> <p>2. 下記図面を「マイクロフィルム」に焼き、「ポリエステルベース」製に拡大の上提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 設 計 図 (実設計図面)</li> <li>2) ショールーム</li> </ol>										
		提出書類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工事完了報告書</li> <li>2. 使用資材(鋼材)一覧表</li> <li>3. その他工事施工に關する必要書類</li> </ol> <p>(ただし、約款第5条による工事費の提出は契約締結後30日以内と記入する。</p> <p>商標の登録は工事の目的物の引渡し日までとする。</p> <p>(特に定めのない限り契約上の完成期日経過後) 4日間とする。)</p>										
		大 東 機 械 等											

章	節	項目	特記事項 (電気部)																																																																																																																																						
1	1	1 第 一 般 事 項	<p>1.1.2 関連工事との統合</p>																																																																																																																																						
		1.1.2 関連工事との統合																																																																																																																																							
1	1	1.1.2 関連工事との統合	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 事 名</th> <th rowspan="2">工 事 区 分</th> <th>電</th> <th>給</th> <th>給</th> <th>給</th> <th>給</th> <th>給</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>水</th> <th>水</th> <th>水</th> <th>水</th> <th>水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配線用基礎</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フロアドレーン/ゲドレーン</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照明器具穴開き及び換気</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧タイル貼付</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン用スリーブ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給電・給水・換気レスタ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備スリーブ導入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備スリーブ閉鎖体換気</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備スリーブ防水処理</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧水機等</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備開口部等内装工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備開口部フロアシート</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上床リレー及び電</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水通車中機具配管配線</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上機具及び配管</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 事 名	工 事 区 分	電	給	給	給	給	給	機	水	水	水	水	水	配線用基礎	○							排水	○						電	○						フロアドレーン/ゲドレーン	○						照明器具穴開き及び換気	○						化粧タイル貼付	○						クレーン用スリーブ	○						給電・給水・換気レスタ	○						設備スリーブ導入	○	○	○	○			設備スリーブ閉鎖体換気	○						設備スリーブ防水処理	○						高圧水機等	○						設備開口部等内装工	○	○	○	○			設備開口部フロアシート	○						同上床リレー及び電	○						水通車中機具配管配線	○						同上機具及び配管	○					
			工 事 名			工 事 区 分	電	給	給	給	給	給																																																																																																																													
				機	水		水	水	水	水																																																																																																																															
			配線用基礎	○																																																																																																																																					
			排水	○																																																																																																																																					
			電	○																																																																																																																																					
			フロアドレーン/ゲドレーン	○																																																																																																																																					
			照明器具穴開き及び換気	○																																																																																																																																					
			化粧タイル貼付	○																																																																																																																																					
			クレーン用スリーブ	○																																																																																																																																					
			給電・給水・換気レスタ	○																																																																																																																																					
			設備スリーブ導入	○	○	○	○																																																																																																																																		
			設備スリーブ閉鎖体換気	○																																																																																																																																					
			設備スリーブ防水処理	○																																																																																																																																					
			高圧水機等	○																																																																																																																																					
			設備開口部等内装工	○	○	○	○																																																																																																																																		
			設備開口部フロアシート	○																																																																																																																																					
同上床リレー及び電	○																																																																																																																																								
水通車中機具配管配線	○																																																																																																																																								
同上機具及び配管	○																																																																																																																																								

5	清水住宅協会所有工事
図面番号	電気工事特記仕様書
図面番号	25
設計	







給排水工事 指定資料 A/E 用 - 12.1

分類	指定資料	適用範囲	製品名	A/E メーカー	分 類	指定資料	適用範囲	製品名	A/E メーカー						
管	J-ボンプ鋼管		住友重工業(株)	日本鋼管(株)	ポンプ	J-ボンプ		(株)住友製作所	(株)川本製作所						
	鋼管	久保田鉄工(株)	久保田鉄工(株)	新日本製鉄(株)		久保田鉄工(株)		多径ポンプ	久保田鉄工(株)	(株)神野製作所	(株)カワゴボウ(株)				
									(株)富山製作所	(株)富山製作所	(株)日立製作所				
	鋼管	石川重工業(株)	住友重工業(株)	日立重工業(株)	日立重工業(株)	鋼管継手	電動機	東京芝浦電気(株)	(株)日立製作所	富士電機製作所(株)					
									三菱重工業(株)	三菱重工業(株)	(株)明電舎				
	鋼管	JIS G 3452	JIS G 3454	JIS G 3442	配管用軟鋼鋼管	衛生用器	衛生用器	JIS S207M/9M/6M	豊田機器(株)	伊藤製作所(株)	ジェニス工業(株)				
												配管用軟鋼鋼管	衛生用器	衛生用器	衛生用器
												配管用軟鋼鋼管	衛生用器	衛生用器	衛生用器
	鉛管	JIS H 4311	JIS H 4312	鉛管	鉛管	水栓	水栓	JIS A 5207	水栓	JIS B 2061	給水栓				
												水栓	水栓	水栓	水栓
	ビニール管	JIS K 6741	JWWA K 118	標準塩化ビニール管	水道用耐衝撃塩化ビニール管	保護材	Dn70mm塩素打	プラスチックス保護材	Dn70mm塩素打	プラスチックス保護材	Dn70mm塩素打				
												塩素打	塩素打	塩素打	塩素打
	塩化ビニール鋼管	JWWA K 116	水道用硬塩化ビニール管(鋼管)	水道用硬塩化ビニール管(鋼管)	水道用硬塩化ビニール管(鋼管)	水漏	FRP 水漏	FRP 水漏	伊藤製作(株)	清水工業(株)	アロン化成(株)				
伊藤製作(株)										豊田機器(株)	三洋電機(株)	日立化成工業(株)			
Dn70mm鋼管	JIS A 5808	薄肉鋼管(70mm)	薄肉鋼管(70mm)	薄肉鋼管(70mm)	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)					
											排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	
継手	鋼管継手	(株)神戶製鋼所	豊洋スチング(株)	(株)多又製作所	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)					
											排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	
	伸縮継手	日本ペロ-工業(株)	アジワン(株)	三台バルブ(株)	三台バルブ(株)	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)				
												排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)
	可とう継手(ステンレス)	日本ペロ-工業(株)	セント(株)	中日技研工業(株)	大阪ラセン工業(株)	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)				
												排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)
鋼管継手	JIS B 2302	鋼管継手	鋼管継手	鋼管継手	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)					
排水管継手	JIS B 2303	排水管継手	排水管継手	排水管継手	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)					
ビニール管継手	JIS K 6739	ビニール管継手	ビニール管継手	ビニール管継手	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)					
可鍛鋼継手	JWWA K 119	可鍛鋼継手	可鍛鋼継手	可鍛鋼継手	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)					
鋼管継手	JIS B 2301	鋼管継手	鋼管継手	鋼管継手	排水器具	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)	排水器具(鋼製)					
止水器	各水道事業主体の規程品			止水器	止水器	止水器(BL用)	止水器(BL用)	止水器(BL用)	止水器(BL用)	止水器(BL用)					
	止水器	止水器	止水器								止水器	止水器	止水器	止水器	止水器
弁	青銅弁		JIS B 2011	15 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> (5 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)	BL部品						建設大臣のBL部品認定を受けたもの? その旨の表示のあるもの				
												JIS B 2013	(5 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)		
												JIS B 2021	(10 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)		
												JIS B 2023	(10 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)		
												JIS B 2025	(10 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)		
	鉄弁		JIS B 2031	15 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> (5 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)											
													JIS B 2041	(5 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)	
													JIS B 2044	(10 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)	
													JIS B 2045	(10 <sup>kgf/cm<sup>2</sup></sup> 圧力弁)	
													JIS B 2052	(水道用圧力弁)	

作成者: 清水工業(株) 設計: 清水工業(株) 承認: 清水工業(株)



特記仕様書

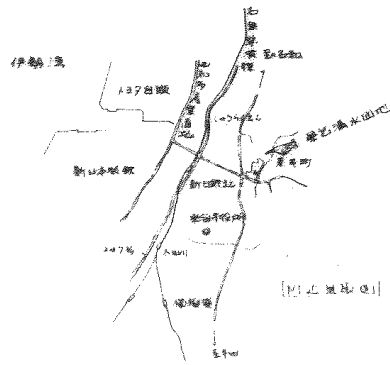
部 項目	特記事項 (別紙編)
1 部 一般事項	
1.1 適用規格等	<p>1. この特記仕様書は、下記に準拠する。ただし、本工程に適合しない項目は、適用しない。</p> <p>1) 資材規格等 2) 工事施工要領書 3) 建設省住宅機能等 公共住宅建設工事共通仕様書 (昭和57年度版)</p> <p>2. 本工程に使用する資材は、「給排水工事指定材料メーカーリスト」によるものとする。</p> <p>3. 別紙表と指定した材料はBマークの数量のものとする。</p>
1.2 設計図書	<p>設計図書の見欠項目、異動説明書、特記仕様書、設計図 (標準図以外のも)、設計図 (標準図)、設計書、共通仕様書</p>
1.3 検査	<p>設計図書に記す検査は、原則として、入札執行前に実施の提出によって、確かめるものとする。</p>
2 部 工事現場管理	
2.1 解体・養生などの作業	<p>1. 引渡しを受けるものは、監督員の指示する場所を撤去し、リストを作成し、監督員に引渡す。</p> <p>2. 引渡しを受けるものは、下記撤去物の項により撤去処分とする。</p>
撤去物及び残土処理	<p>変形鋼筋部切断、車道材料及び残土処理基準 (昭和59年4月1日による)。</p>
3 部 仮設物その他	
3.1 監督員事務所	<p>○設置しない ○設置する (養生工事と共通仕様書)</p>
7 部 特記仕様	
7.1 記 録	<p>工事写真</p> <p>1) 工事中、仕込器具や資材に所定事項を特記し、工事の進捗状況と撮影記録すると共に特記施工後、階へ又は撤去される部分は、撤去後に所定事項を添え撮影すること。写真フィルムは、監督員の指示により適宜提出する。</p> <p>[写真枚数] : _____</p> <p>2) 完成時、カラー( ) 撮影を_____にて、撮影場所を特記の上、原簿に提出する。</p> <p>[写真枚数] : _____</p>
7.2 施工工程その他	<p>1. 工事完了前、下記施工工程を別紙A、又はA'で作成し提出する。</p> <p>1) 配管図 2) 弁室図 3) その他</p> <p>2. 下記図面を「パイプワーク」に記入し、「ボリスチンペーパー」製に紙大の上表出する。</p> <p>1) 設計図 (必要設計図書) 2) 施工工程</p>
提出書類	<p>1. 工事完了前提出書類</p> <p>2. 使用材料 (原料) 一覧表</p> <p>3. その他工事施工に關する必要書類</p> <p>(ただし、約款第3条による工程表の提出は契約締結後30日以内と規定する)</p>
大 天 井 換 等	<p>5. 採換の期間は工事の最終的引渡し日までとする。</p> <p>(特に定めのない限り契約上の完成期日経過後14日間とする)</p>

氏名	
名称	
位置	
工数	
備考	
年月日	5.9

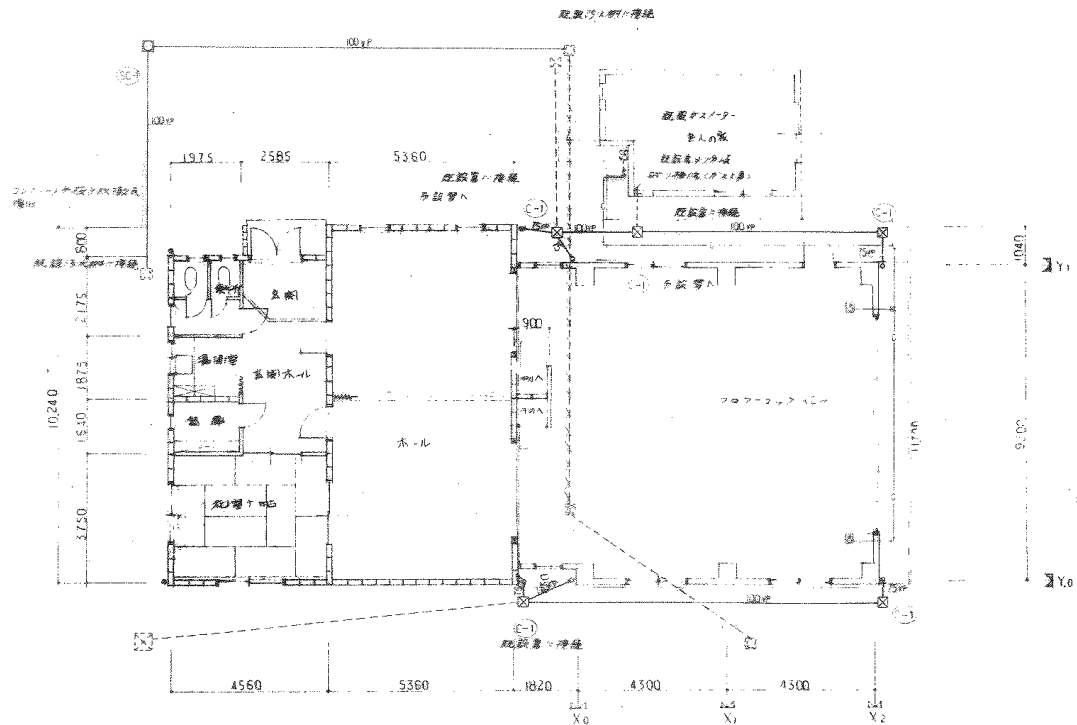
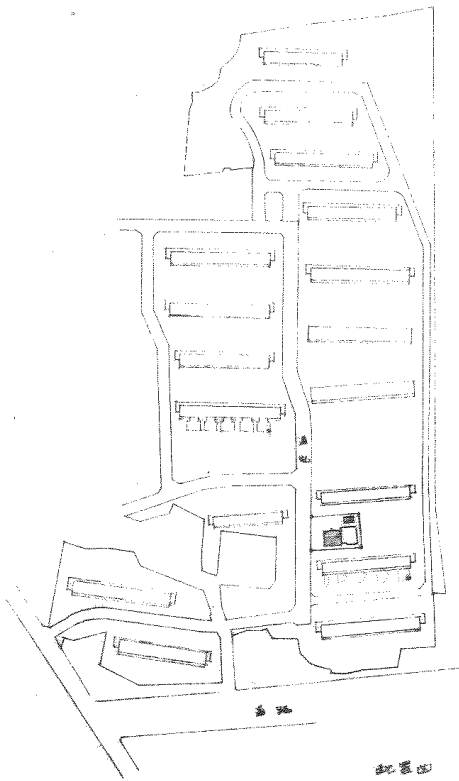
部 項目	特記事項 (給排水編)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1 部 一般事項	<p>4.1.2 関連工事との整合</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1.1 給排水	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>工 事 区 分</th> <th>電 気</th> <th>給 水</th> <th>ガ ス</th> <th>外 水</th> <th>E</th> <th>V</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水用配管</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フロアドレン/バルコンドレン</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雨排水器具開口及び補修</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化糞坑・ビオレット</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クーラー用スリーブ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>浴室・浴室・換気用スリーブ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空調スリーブ導入</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備スリーブ保護体補修</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備スリーブ防水処理</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高層水塔設置</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備関係安全確保内装工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夜間作業用照明</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雨上り用ワイヤー及び蓋</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水運用中試験設置配線</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雨上り結露及び調査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事名	工 事 区 分	電 気	給 水	ガ ス	外 水	E	V														排水用配管	○																				排水	○																			フロアドレン/バルコンドレン	○																			雨排水器具開口及び補修	○																			化糞坑・ビオレット		○																		クーラー用スリーブ	○																			浴室・浴室・換気用スリーブ	○																			空調スリーブ導入		○	○	○																設備スリーブ保護体補修	○																			設備スリーブ防水処理	○																			高層水塔設置	○																			設備関係安全確保内装工事	○	○	○	○																夜間作業用照明			○																	雨上り用ワイヤー及び蓋			○																	水運用中試験設置配線				○																雨上り結露及び調査				○															
工事名	工 事 区 分	電 気	給 水	ガ ス	外 水	E	V																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
排水用配管	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
排水	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
フロアドレン/バルコンドレン	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
雨排水器具開口及び補修	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
化糞坑・ビオレット		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
クーラー用スリーブ	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
浴室・浴室・換気用スリーブ	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
空調スリーブ導入		○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設備スリーブ保護体補修	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
設備スリーブ防水処理	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
高層水塔設置	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
設備関係安全確保内装工事	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
夜間作業用照明			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
雨上り用ワイヤー及び蓋			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
水運用中試験設置配線				○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
雨上り結露及び調査				○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
管及び継手	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>用 途</th> <th>給 水</th> <th>排 水</th> <th>汚 水</th> <th>ガ ス</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水運用用給水用配管</td> <td>JIS G 3442</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配管用排水用配管 (白)</td> <td>JIS G 3452</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩化ビニル配管</td> <td>JWAK 116</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル (Vp)</td> <td>JIS K 6741</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水用軟鋼管</td> <td>JIS G 5525</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遠心式鉄製コンクリート管</td> <td>JIS A 5393</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バルコニー式可動継手 (白)</td> <td>JIS R 2301</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ねじ込み式排水用継手</td> <td>JIS S 2303</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル電線</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ライニング鋼管継手</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管継手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料	用 途	給 水	排 水	汚 水	ガ ス	備 考	水運用用給水用配管	JIS G 3442	○					配管用排水用配管 (白)	JIS G 3452		○				塩化ビニル配管	JWAK 116	○					硬質塩化ビニル (Vp)	JIS K 6741	○	○	○			排水用軟鋼管	JIS G 5525			○			遠心式鉄製コンクリート管	JIS A 5393						バルコニー式可動継手 (白)	JIS R 2301		○				ねじ込み式排水用継手	JIS S 2303				○		ビニル電線			○	○			ライニング鋼管継手		○					鋼管継手					○																																																																																																																																																																																																																																																																			
材 料	用 途	給 水	排 水	汚 水	ガ ス	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
水運用用給水用配管	JIS G 3442	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
配管用排水用配管 (白)	JIS G 3452		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
塩化ビニル配管	JWAK 116	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
硬質塩化ビニル (Vp)	JIS K 6741	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
排水用軟鋼管	JIS G 5525			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
遠心式鉄製コンクリート管	JIS A 5393																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
バルコニー式可動継手 (白)	JIS R 2301		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ねじ込み式排水用継手	JIS S 2303				○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ビニル電線			○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ライニング鋼管継手		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
鋼管継手					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
管及び設備関係工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>部 内 部 内</th> <th>部 内 部 外</th> <th>部 外 部 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水管</td> <td>防食テープ巻 (5巻以上)</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製)</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製)</td> </tr> <tr> <td>排水管</td> <td>フォームダリステン鋼製材</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製材)</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製材)</td> </tr> <tr> <td>排水管</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製材)</td> <td>S-O-P 2 巻塗り</td> <td>S-O-P 2 巻塗り</td> </tr> <tr> <td>排水管</td> <td>---</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製材)</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製材)</td> </tr> <tr> <td>排水管</td> <td>ロックワール鋼製材</td> <td>※-1 (フォームダリステン鋼製材)</td> <td>---</td> </tr> </tbody> </table> <p>※-1 中層部の調査、配管には、防食テープ巻 (5巻以上) をはくこと。          ※-2 中層部の調査等は、コーナース 2 巻塗りとする。</p>		部 内 部 内	部 内 部 外	部 外 部 外	排水管	防食テープ巻 (5巻以上)	※-1 (フォームダリステン鋼製)	※-1 (フォームダリステン鋼製)	排水管	フォームダリステン鋼製材	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	排水管	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	S-O-P 2 巻塗り	S-O-P 2 巻塗り	排水管	---	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	排水管	ロックワール鋼製材	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	---																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	部 内 部 内	部 内 部 外	部 外 部 外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
排水管	防食テープ巻 (5巻以上)	※-1 (フォームダリステン鋼製)	※-1 (フォームダリステン鋼製)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
排水管	フォームダリステン鋼製材	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	※-1 (フォームダリステン鋼製材)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
排水管	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	S-O-P 2 巻塗り	S-O-P 2 巻塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
排水管	---	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	※-1 (フォームダリステン鋼製材)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
排水管	ロックワール鋼製材	※-1 (フォームダリステン鋼製材)	---																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

品名: 給排水管工事用特記仕様書  
 数量: 28  
 単位: 冊  
 発行: 59-4  
 発行所: 建設省住宅機能等 公共住宅建設工事共通仕様書 (昭和57年度版)





----- 既設道路及び埋設  
 ----- 新築道路



凡例	
	既存道路を示す
	新築道路を示す
	敷地境界線

平面図 1/100

名称	津市住宅集会所増築工事	設計図
図面名称	津市住宅集会所増築工事 平面図	1/100
図面番号	30	
設計		

